

其ノ同胞愛護ノ念ハ卒カニ過ム可カラズ災後交通断絶シ王君急ニ工人ノ消息ヲ探詢セントシ九日自転車ニ乗シテ大島町ニ赴クヤ傷ヒ哉此行啻ニ醜虜ニ授クルニ暗殺ノ機会ヲ以テシタルノミナラス大島町ニ至ルヤ即チ軍警ニ捕ヘラレ龜戸警察署ニ幽セラルコト三月十二日ニ至リ遂ニ当局命ヲク其確實ナル数ヲ知ルモノハ王君ノミナリ王君死セズンバ殺害サレタル華人ハ何日カ昭雪ノ日アル可キニ日本当局ハ彼ヲ死地ニ置キタルハ惟ニ之ニ依リテ平日ノ積怨ヲ快シトスルノミナラス永久緘口ノ計ヲ為スモノナリ然カモ華人残殺事件ハ業ニ既ニ東京ニ伝播シ吾カ新聞亦之ヲ掲載シ事実瞭然固ヨリ掩ハントスルモ掩フ可カラス我カ公使ノ抗議スル所アリト雖モ日本政府ハ唯タ秩序紊乱ノ為メ誤殺ヲ來シタルモノナリト称シ懲兇賠償ニ至リテハ毫モ言及セス其絶対ニ誠意ナキコト此ニ依リテ見ルコトヲ得ヘシ夫レ華人ノ衣服容貌ハ一見シテ知ルコトヲ得ヘク縱令誤殺アリトスルモ亦少數ニ属シ何ソ数百人ヲ慘殺スルニ至ラン且ツ大島ノ華工ハ僑居多年付近ノ日人尤モヨク之ヲ知レリ況シヤ数人ノ兇手ハ何レモ直轄軍警ニ属シ明カニ華人タルヲ知リ故意

ニ惨殺シテ誤解ト強飾スルニ於テハ誰ヲ欺クコトヲ得ンヤ且ツ既ニ誤殺タルコトヲ知レハ論理上当然兇手ヲ嚴懲スヘキナルニ今之ヲ置イテ不聞不問ニ付スルハ該国当局カ故ラニ庇護スルモノニシテ事跡顯然兇出指便此レ又見易キナリ若シ秩序紊乱ニ事ヲ託シテ責ヲ卸ス可シトセハ則チ庚子ノ条約、南京事件等前例俱ニ在リ焉ソ諱ムコトヲ得ン嗚呼尼港ノ仇殺ハ懸リテ國恥タリ臨城ノ匪劫ハ責未タ休マス日人兵ヲ重ネテ露國ニ臨ム尼港ノ変ハ實ニ自ラ之ヲ招キ故ラニ迫ツテ危險ニ走ルモノナリ臨匪ノ劫ヲ行フ其目的殺人ニ非ス今帝都輦轂ノ下兵ヲ縱ニシテ僑民ヲ掠殺ス法紀蕩然正義何処ニ在ル其慘ノ人道ナキ遙カニ露兵臨匪ノ上ニ在リ從来日人ノ我ヲ侮ルコト久シク五七ノ耻未タ雪カサルニ虐殺ノ耗頻リニ來ル舟車利便ノ時ニ際シ誰カ能ク國門ヲ出テサラシ死者已ム生者虞ルニ堪ニ來ル日ハ方ニ長シ禍福曷ソ以マン骨ヲ埋ムノ何地タルヲ知ラス夫レ豈言フニ忍ヒンヤ夫レ武力ハ外交ノ後援ナリ弱國武力ナク恃ム所ハ惟タ民氣ノミ語ニ曰ク因獸猶ホ鬪フト我民弱シト雖モ固ヨリ人類ナリ安ソソ能ク低首下心人ノ宰割ニ從ハシ望ムラクハ速カニ群情ヲ鼓起シテ共ニ応策ヲ籌ラレ國亡ヒ種滅スルモ公理屈ス

可カラス請フ政府ハ再接再励聊カモ退縮スルコトナク且ツ友邦ニ遍訴シ以テ輿論ノ裁判ヲ待ツ可キナリ嗚呼事急ニシテ寇深シ義反顧ス可カラズ寃ノ雪カルルヲ待ツ事宜シク遙ル可カラス願ハクハ我カ父考昆弟姉妹急ニ起ツテ之ヲ図レ

留日華僑虐殺抗議後援会

3 レーニン号問題

四八八 九月五日

在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
山本外務大臣宛（電報）

今次ノ震災ニ対スル赤旗紙上ノ不穏当ナル

表現ニ対シ注意ヲ喚起セル件

（九月六日接受）

第六八三号

往電第六八〇号ニ関シ

三日夕刊紙（赤側）及四日県機関赤旗紙ハ何レモ社説ニ於テ今次ノ震災ニ関シ是レ日本本勞農民ノ双肩ニ繫ル不幸ナルヲ以テ吾人勞農ノ兄弟ニ対スル友誼トシテ自己ノ窮状ニ拘ハラズ之ガ応援ヲ為サザルベカラズ云々トテ如何ニモ今次ノ震災ヲ利用シ日本ノ勞役階級ニ対シテ同情スルト同時ニ

ノ滅亡云々ハ不穩當ノ字句トシテ「ゴ」ノ反省ヲ促シタル
モ社説ノ筆調ニ対シテハ「ゴ」ト共ニ飽ク迄モ勞農ノ主義
ニ出デタル旨ヲ弁抗シタルニ付本官ハ勞農政府ガ交渉ヲ欲
セルハ帝国政府ニシテ何等權威ナキ労働階級ナルモノニア
ラザルベキヲ指摘シ彼等ノ言動ガ莫斯科ノ意向ニ反スベキ
ヲ挙ゲ将来ニ対スル注意ヲ喚起シ置ケリ

四八九 九月五日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
山本外務大臣宛（電報）

在浦潮労農代表ハーヴィンヨリ日本へ救援船

派遣ヲ申入レタルニヨリ日本官憲ノ指揮ニ從

フベキ旨回答シタル件

別電 九月五日付労農政府外相チエリン発山本外務
大臣宛震災見舞電報要領

第六八四号

（九月六日接受）
本五日「ハ」ハ本官ヲ來訪別電労農外相ノ電文ヲ手交シ政
府ヘ伝達方ヲ申出ヅルト同時ニ政府ノ電命ニ依リ出来得ル
限り速ニ艦裝中ノ救護隊ヲ乗リ込マセタル汽船ヲ日本ニ出
帆セシムル旨申出タルニ付前頭労農政府ノ電文ハ直ニ即電
スペク又汽船派遣ノ件ハ往電第六八三号ノ通宣伝文ヲ積込

ミ居ルノ情報モアルニ付前電ノ趣旨ヲ繰返シ中央へ電照打
合ノ結果出帆セシメラレ度旨ヲ答ヘタル処人道上ノ見地ヨ
リ救護ニ赴ク露國ノ汽船ヲ日本ガ阻止スル筈無キハ既ニ米
国等ノ例モアルニ依リ明ニシテ自分トシテハ右汽船到達遲
延ノ為權災民ノ被ル損害ニ対シ貴官ニ於テ責任ヲ負ハルル
ナラバ吾人ノ意志ニハ反スルモ其旨公表シテ汽船ヲ差止ム
ベキ旨申出デタルニ依リ本官ハ表面ノ理由トシテ露國側ノ
好意ヲ徹底的ニ遂行セシメ度為予メ打合ハセントシタルニ
過ギザル旨ヲ説明シ試ニ先方ノ計画如何ヲ尋ネタル処不取
敢汽船一隻ニ傷病者三、四千名収容ノ艦裝ヲ為シ医師看護
婦ヨリ成ル救護隊十數隊ヲ乗組マシメ外ニ医薬材料麦粉衣
類及子供ノ栄養物タル「ココア」「チヨコレイト」等ヲ積
込ノ計画ニシテ準備出来次第出帆セシムル趣語リタリ彼ノ
態度ガ飽ク迄頑強ニシテ本官ノ阻止ヲ以テ我政府ニ累ヲ及
ボサシメントシタルニ依リ止ム無ク郡司トモ協議ノ上然ラ
バ本官ノ注意ニ拘ラズ是非共派遣スルナラバ差当リ東京湾
ヘノ入港ハ危險ナル模様ナルニ付神戸若クハ其他ノ公開地
ニ入港シ其後ノ行動ニ閔シテハ帝国當該官憲ニ打合セ其指
揮ニ依リ行動然ルベキ旨ヲ答ヘ置キタリ

機密第一三四号

大正十二年九月六日

在浦潮斯德

総領事代理領事 渡辺 理恵（印）

外務大臣伯爵 山本 権兵衛殿

震災ニ対スル露側救援船派遣ニ關スル件

既報ノ通り本官トシテハ此際ノ露船派遣ハ好マシカラザル
モノアリト考ヘ体善ク差控ヘシメント極力努メタルモ何分
先方ガ表面人道国交ヲ盾ニ申込ミ来タレル事トテ此上ノ阻
止ハ實際国交上ニモ影響スル重大關係ヲ惹起スルノ虞アリ
責任上重大ナルヲ以テ止無ク前記ノ通り應酬シ置キタルニ
付右御諒知置キ相成度尙ホ該汽船名及出帆ノ期日等ハ重ネ
テ電報スペキモ本船ニ宣伝文ヲ積込ミ居ルヤノ疑アルニ付
御含ノ上然ル可ク御措置相成度ク右不取敢

（別電）

九月五日付

労農外相「チエリン」発山本外務大臣宛震災見舞電報要領
労農政府ハ日本労働民衆ノ多年ノ労働ノ結果ヲ全滅セシメ
タル非常ナル慘事ニ際シ日本人民ニ対シ最モ甚大ナル悲嘆
ノ情ヲ表明シ且日本人民ノ被リツツアル艱苦ヲ痛嘆ス
労農政府ハ速ニ且出來得ル限リノ方法ヲ以テ日本人ノ災厄
ヲ救助セムコトヲ決意セリ

四九〇 九月六日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

山本外務大臣宛

震災ニ対スル露國側救援船派遣ニ關スル件

八 関東大震災関係 四九〇

八 関東大震災関係 四九一 四九二

六七八

ニ一般民衆ニ対シ申訳ナク両国々交上面白カラサルヲ力説シ其ノ意氣込盛ナル事實ト露側カ曩ニ「モスクワ」農博観光團ニ対シ表シタル歎待振並ニ曩ニ加藤首相薨去ニ際シ「ラキチン」及「ハウヴィン」等カ從来見サリシ丁重ナル弔意表彰ヲナシ乃至「ハウヴィン」カ今回後藤子爵ノ入閣ニ対シ特ニ両國關係ニ期待ヲ有スル意ヲ表セル等事實ニ鑑ミルトキハ此機ニ際シ先方ハ充分ノ同情ヲ発揮シ両國關係施設促進ニ利セムトルモノカト被察候ニ付今回ノ救援船派遣ノ裏面ニハ或ハ所謂宣伝運動ノ野心アルヤモ難計候ヘ共之ニ対シテハ相當取締ノ方法モ可有之ニ付大体ハ勢ヒ止ムナク先方ノ厚意ヲ受クルノ外無之儀ト被存候ニ付強イテ派遣ヲナス上ハ同船ヲ一応神戸ニ廻航可然旨消極的ニ応答シタル等ノ事情ハ今回帰朝ノ郡司副領事ヨリ委曲御聴取ノ上本件可然御取計相成候様致度此段報告旁申進候 敬具

四九一 九月八日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
レーニン号當港ヲ出發ノ件 山本外務大臣宛(電報)
(九月九日接受) 第六八九号
本省トノ連絡ナカリシ為八日直接兵庫県知事ニ発シタル拙シタル等ノ事情ハ今回帰朝ノ郡司副領事ヨリ委曲御聴取ノ上本件可然御取計相成候様致度此段報告旁申進候 敬具

四九二 九月八日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
救援船レーニン号乗組員ノ内訳等ニ關シ 副領事ヨリ委曲御聴取ノ上其筋ヨリノ電照御參酌万事宜敷御取計ヒ相成度シ

四九二 九月八日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
救援船レーニン号乗組員ノ内訳等ニ關シ 副領事ヨリ委曲御聴取ノ上其筋ヨリノ電照御參酌万事宜敷御取計ヒ相成度シ

四九二 九月八日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
山本外務大臣宛(電報)
ノ件
(九月九日接受) 第六九〇号
往電第六八九号ニ閑シ
昨七日本官発吳鎮守府司令長官宛(海軍側暗号使用)電報
曩ノ拙電ニ対シ早速ノ御回電ヲ深謝シ恐縮乍ラ左記ノ電報
為念左ノ通り
兵庫県知事ヘ伝達方可然取計ヒ相成度ク時節柄特ニ願フ今
次ノ我大震災ニ対シ露國側ハ地方及中央トモ之ガ救援船ノ
ヨリ委細御聴取ノ上中央ト御連絡ノ上可然御措置相成度ク
尚鄙見ニ依レバ右一行ノ幹部ガ共產党ニシテ彼等ノ集金法
トシテ当方面ニ主義ヲ振廻シテ宣伝セルハ事實ナルヲ以テ
一行内ニ所謂宣伝計画ノ陰ニ為サレアルハ抗議ノ余地アル
モ之ニ対シテハ帝國ニ於テ相当防止準備アラルベク何分先
方ガ表面同情援助ヲ標榜セルヲ以テ之ニ対スル措置緩急宜
シキヲ得ザレバ國交上ニ影響ヲ及ボスマノト考ヘラルルニ
依リ可然取計ヒ相成度ク非常時ニ付變態乍ラ右電照ス尚連
絡付キ次第本電ノ趣外務大臣ニ御伝ヘヲ乞フ

本計画ニ対シテハ予メ当地露国外務全權ヨリ申込ミアリタル處一方露側ハ此機ヲ利用シ対日宣伝計画ヲ為シアリトノ報モアリ新聞等ノ震災ニ対スル言動ハ如何ニモ此挙ニ依リ我労働階級ニ而已ニ対スル同情ニ偏スル傾向アルカニ鑑ミ本官ハ總テ我政府ノ指揮ニ基キ進退セシメント努メ極力中央トノ連絡復旧迄出帆見合セ方先方ニ力説シタルモ露側ハ人道乃至国民關係ヲ楯ニ急速派遣ヲ主張シタル為問題ノ性質上強テ之ヲ阻止スルヲ得ズ已ムナク一応貴地(神戸)ニ寄港シ貴官ト政府トノ打合ニ基ク指揮ニ從ヒ行動方可然応答シ置ケリ右ノ事情ハ九日頃貴官ヲ訪問スペキ郡司副領事

四九三 九月九日 在大阪伊丹少将ヨリ
露國救援船ニハ救恤品ト共ニ多數ノ宣伝文ヲ
積込居レリトノ郡司副領事ノ談話報告ノ件
(九月九日接受) 大阪第二十三号
本九日浦塙ヨリ郡司副領事來阪——同氏ノ言ニ依レハ今
回露國ハ震災救助ノ為メ義勇艦「シンビリスク」ヲ日本ニ派遣スルニ決シ同船ニハ四百名ノ避難者ヲ収容スヘキ設備ヲ有シ且ツ救恤品ヲ積載シ七日浦塙発神戸ニ向ヘリ而シテ同船ニハ多數ノ宣伝文ヲ積込ミ亦日本語ニ巧ナル

八 関東大震災関係 四九四 四九五

六八〇

不逞鮮人ノ頭目モ乗込ミアリ就テハ此際日本側ニ於テ彼等ノ行為ヲ拒ムハ國際上不穏トナルモ混亂ノ際一意其宣伝ヲ防止スルノ必要アルヲ以テ此取扱ハ大ニ考慮ヲ要スヘシ

尚郡司ハ本日神戸ニ赴キ県庁ト連絡ノ上軍艦ニ便乗シ至急上京ノ筈ナルモ一面同船寄港ノ虞レアル閂門ニ対シテハ大阪府庁ノ手ヲ経テ予メ注意ヲ加ヘ置ケルカ同船神戸入港後ノ処置ニ就テハ当局ヨリ兵庫県庁ニ指令ノ要アルヘシ委細ハ郡司副領事カ外務省ニ到着後報告スヘキモ不取敢此旨外務省ニ伝ヘラレタシ

四九四 九月十日 山本外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺総領事代理宛（電報）

労農政府ヨリ寄セラレタル同情ノ電報ニ對ス

第四三五号 ル謝意ヲ労農外相ニ伝達方訓令ノ件

貴電第六八四号ニ閲シ左ノ通「ハービン」ニ申入レ労農外相ヘ伝達方取計ラハレタシ

帝国政府ハ今回ノ震災ニ際シ日本国民ノ蒙リタル損害ニ対シ労農政府カ寄セラレタル深甚ナル同情ノ電報ニ對シ熱誠

ナル謝意ヲ表ス

尚露国側ニ於テ救護隊派遣、物資供給等ニ付テモ申出テラレタルハ帝国政府ノ感謝ニ堪ヘサル所ニシテ貴方申出ニ係ル物資ノ供給ニ就テハ欣然之ヲ受納スヘシ但シ傷病者ノ収容救護ニ付テハ施設其緒ニ就キ今日ニ於テハ大体懸念ナキ他諸國ヨリノ同様申出ニ對シテモ成ル可ク謝絶シ居ル現状ニ顧ミ帝国政府ニ於テ露国側ノ好意アル申出ヲ謝絶スルノ已ムヲ得サル事情ヲ諒トセラレムコトヲ希望ス尚物品受取リノ場所及配給ノ方法等ニ閲シテハ他国ヨリ来ルモノト同様全然帝国政府ノ措置ニ任セラレタシ

四九五 九月十日 田中内外務次官ヨリ
福岡県知事一宛（電報）

露国ノ救援船ハ荷揚済次第成ルベク速力ニ引

揚グル様郡司副領事ニ伝達方依頼ノ件

貴地ニ近々入港スヘキ露国汽船「レーイニン」ニ搭乗ノ筈ナル郡司副領事ニ左ノ通り伝ヘラレタシ

露国側救援ニ閲シ左ノ通り在浦潮総領事代理經由労農外務

人民委員ニ電報済ナルニ付右電報所載ノ趣旨ヲ「バチス」以下ニ説明セラレ本件ノ機微ナル事情ヲ軽シ篤ク先方ノ好

意ヲ謝セラルト共ニ一方内務省ヨリ貴地県庁ニ訓令アルヘキニヨリ右官憲ト接触ヲ保チ救援隊ハ之ヲ上陸セシメサルト共ニ汽船モ神戸ニテ荷揚済次第可成速カニ引揚グル様仕向ケラレ度シ

露国側ニ於テ救護隊派遣、物資供給等ニ付テモ申出テラレタルハ帝国政府ノ感謝ニ堪ヘサル所ニシテ貴方申出ニ係ル物資ノ供給ニ就テハ欣然之ヲ受納スヘシ但シ傷病者ノ収容救護ニ付テハ施設其緒ニ就キ今日ニ於テハ大体懸念ナキ他諸國ヨリノ同様申出ニ對シテハ極力援助セサル可カラスト説キ実行委員会其他ノ団体等略同様ノ決定檄文等ヲ公布シ中ニハ社説ニ於テ日本ノ現状ハ天災ノミナラス民心ノ同化ナキニアラス如何ニモ政治的不穏ノ兆アルカ如ク論スル者アルニ至リタルニ依リ本官ハ爾來再三「ハーウィン」ニ対シ抗議的勧告ヲ重ネタルモ彼等ハ何レモ之労農民ヲシテ政府ノ処置ヲ是認セシメ且民間ヨリノ義捐金応募ニ利スル対内策ニ外ナラス決シテ對外宣伝ニ非スト抗弁シ露国勞働者カ自発的ニ一日分ノ給料義捐ヲ決定シ八日挙行ノ露国飢民救濟團國際慈善会ノ收入ノ半額ヲ日本ニ寄付スヘキ決議

現状ニ顧ミ帝国政府ニ於テ露国側ノ好意アル申出ヲ謝絶スルノ已ムヲ得サル事情ヲ諒トセラレムコトヲ希望ス尚物品受取ノ場所及配給ノ方法等ニ閲シテハ他国ヨリ来ルモノト同様全然帝国政府ノ措置ニ任セラレタシ

四九六 九月十日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
山本外務大臣宛（電報）

八 関東大震災關係 四九六

六八一

「リン」ハ六日発電報ニテ莫斯古政府カ今回ノ震災ニ対シ物質的援助ノ為在極東船舶ニ必要品ヲ積込ミ日本ニ急派方ヲ決定シタル事「カリーニン」カ右実行ヲ齊多ニ電報命セル事ノウハク委員長ハ義捐金募集ヲ為ス事政府カ必要ナル長時期援助ヲ計画セルニ依リ日本国民カ将来露国民ヲ親友ト認ムルヲ期待スル旨莫斯古当局ノ言明ヲ報シ来レル旨ヲ本官ニ吹聴シ当地新聞又何レモ右諸項ヲ莫斯古通信トシテ掲載シ最近ノ新聞ハ殆ント震災ニ関スル記事論説ヲ以テ満サレアルヤノ感アリ

一般救援隊ノ事務ハ予テ欧露航ノ予定ナリシ汽船「シンビルスク」（「レーニン」ト改名シ）ヲ突然用ユルコトトナリ物資ノ積込人員募集等僅々三、四日間ニ諸事ヲ調へ遂ニ別電（往電第六八九号）ノ通り八日出帆ヲ見タル如ク其ノ組織的努力ハ前記宣伝振ト共ニ注意ニ值スルモノアリ而シテ右「レーニン」号ノ齋ス衛生給養材料等ノ価額ハ約五十万金留ト称セラレ該隊ハ出發前當地鮮銀ニテ十万円ヲ日本銀行券ニ両替セルアリ（所謂宣伝費ト疑ハルモ当局側ハ寄贈米三万布度ノ内八千布度ノミヲ携行シ残部ハ日本ニテ買込ム旨ヲ語レルヲ以テ之レ真実ナラバ米代其ノ他ヲ併

七十万円位ハ要スペシ共考ヘラル）又今次積込ノ木材ノ間乃至米、麦粉等ノ中ニハ主義宣伝文ヲ無数ニ差込ミアリトノ情報アリタルニ依リ本官ハ為念重ネテ「ハーウィン」ニ對シ該隊一行ガ元來規定ノ手続ヲ履マズ我政府ト交渉ナクシテ本邦ニ赴クモノナルニ付先ヅ此点ニ相当ノ覺悟アルベキコト且露側ガ日本ノ現状ヲ手前勝手ニ誤解セル嫌アリ且両國殊ニ露側ガ日本ノ現状ヲ手前勝手ニ誤解セル嫌アリ且両者ノ間ニ何分行違ヲ生ジ折角ノ好意ガ反対ノ結果ヲ招来スルガ如キコトナキ様就中申迄モナク此機ニ於テ主義宣伝ノ如キハ最許スベカラザルコトナルヲ以テ充分一行ヲ戒メ且万事ハ兵庫県知事ノ指揮ニ従ヒ行動然ルベキ旨伝ヘラレタキ旨ヲ述べ置キ且一行出發前本官ハ本船ニ其ノ幹部ヲ訪ヒ（裏面ノ真意ニ容疑ノ点アリ且政府ノ御承認モ一般手続モナザル同隊ヲ訪問スルハ如何ヤト一応考ヘタルモ何等表面我權災民救援ノ為ニ赴クモノニ付相当挨拶然ルベシト館員一同協議ノ上視察旁館員並居留民会幹事ト共ニ本船ニ赴キタリ）適宜挨拶ニ加ヘ略ボ対「ハ」談話ト同様ノコトヲ述べ置タリ

既報ノ通り今回ノ救護船ハ第一回ニシテ彼等ハ都合ニ依レ

バ先づ罹災孤児等数百名ヲ当地ニ収容尚必要ニ応ジ他ノ船舶及給養物資ヲ統派スル計画ノ由ニシテ其真意ガ果シテ今期ヲ利用シ直接的ニ主義宣伝ヲ為サントスルモノナルヤハ疑問トスルモ彼等ノ救護來航其物ガ既ニ一ノ宣伝ニシテ之ガ我国現状ニ及ス影響如何ハ十分考慮ヲ要スベキ問題ト存ゼラレタルニ依リ「レーニン」号ニ関シテモ一応伺出ノ上ニ致スベク努力（之ガ為露側ニハ本官ガ救援船ノ派遣ニ異議ヲ唱ヘタリトテ此難ノ声高カラントシタルモ前頭本官ノ本船訪問ニ依リ緩和サレタル模様ナリ）致シタルモ既陳ノ

ニ出デザル限り之ヲ無下ニ謝絶スルハ勿論彼等ノ行動中余計ノ曲解ヨリ彼等ヲ撤退セシムルガ如キコトアラバ国交上ハ勿論直接在露官民ノ立場甚ダ困難ニ陥ルベキヤニ考ヘラレ当地邦人中心アルモノハ本件ノ将来ニ対シ痛ク憂慮セル有様ニ付右報告旁々電稟ス

四九七 九月十日 在浦河渡邊總領事代理ヨリ 山本外務大臣宛（電報） レーニン号ノ乗組員ニ關シ報告ノ件

（九月十一日接受）

往電第六九一号「レーニン」号ニハ人員約百名ノ予定ナリシモ検定ノ結果医師六、補助医九、看護婦十一、看護手四十一、計六十七（外ニ既報全權及同補佐アリ尚右員數ニハ多少変更アルベク名簿ハ後送ノ筈）トナレリ全權「バチス」ハ屢々日本ニ赴キタルコトアリ僅ニ邦語ヲ解ストノコト而シテ一行ノ大部分ガ共産黨員又ハ同党共鳴者ナルベク殊ニ看護手ノ中ニハ宣伝家アルベキハ想像ニ難迷惑ナル押売的行為ト存ゼラルモ折角先方ガ同情ニ基キ熱心ニ持チ掛ケ来レルコト故帝国領内ニ於テ實際不穩動行

フ予定ヲ变更シ同船ニテ神戸ニ向ヘルニ付当館ノ紹介状ガ敦賀官憲宛トナレルニ依リ神戸当局ニ御電照方可然御取計ヒ相成度ク不取敢

四九八 九月十三日 安河内神奈川県知事ヨリ
山本外務、後藤内務、田中陸軍、財部
官等宛 戒嚴司令官、第三戦隊司令

露国汽船レーニン号渡来ニ閑シ報告ノ件

労農露国汽船「レーニン」号（一七〇〇噸）ハ本月八日午後二時十五分浦塩斯徳出帆津軽海峡通過昨日午後一時横浜港ニ着セルニ付当地警備ノ任ニアル海軍側ト打合セヨ遂ヶ共ニ同船ニ赴キ調サシタルニ同船ニハ船長以下九十名ノ船員ヲ有シ渡來ノ目的ニ就テハ今回ノ震災ニ依ル罹災者中ノ労働階級者救済ノ為メナリト称シ代表以下九十二名ヨリ成ル救護隊ヲ乗船セシメ且食料建築材料薬品衛生材料等ヲ積載シ居レリ同船來着ノ際ニ于ケル取扱ニ閑シテハ内相戒嚴令司令官（各貴殿）ヨリ通牒ノ次第モアリタルニ付其趣旨ニ基キ救護材料其他物資給与ノ好意ニ対シテハ謝意ヲ表シ船員及救護隊員ノ上陸ニ就テハ絶対ニ之ヲ禁止シ海軍ト協力シテ嚴重取締リタルガ當日ハ物資給与ノ件ニ閑シテハ決

定的ノ申出ナク同船ハ當県指定ノ場所ニ碇泊シ何等異常ナシ前記乗組員救護隊員ノ氏名物資名及其価格等ハ別表ノ如クナルガ其救護隊員中ニハ労農露国情報機関ロス浦塩特派員「ゴンチャール」ナルモノアリテ今回ノ渡來ニ就テ大要左ノ如ク語レリ

九月八日午後本船方多量ノ食料品及医療材料ヲ積ミ浦塩出帆横浜ニ來着シタル旨是非日本ノ通信機関ヲ通シ日本全国ノ労働者階級ニ伝ヘラレタシ

此ノ救護事業ノ遂行センガタメ九月六日、七日ノ兩日浦塩ニ於テ極東革命委員会及共産党委員労働組合委員ノ會議ヲ開催シ極東在住ノ露国労働者各一人一日分ノ日給ヲ集メ五十万留ヲ得之ヲ救濟費ニ充ツル事ニ決議シ若シ其額ニ達セサル時ハ全露ノ労働者ニ檄ヲ飛バシ必ず予定額ノ醵金ヲ為スペク決議シタリ

其結果數日間ニ十七万金留ノ醵金ヲ見タルヲ以テ元シンビルスク号改名レーニン号ニ乗組テ急遽出帆シタル次第ナリ此挙ハ単ニ救済トカ震災トカ云フ御情的ノモノニアラズシテ全露西亞ノ労働者階級カラ如何ニ日本労働者ニ対シ好意ト同情トヲ有スルカラ表ハサントスルニ外ナラズ要スルニ

戒通第一五号

大正十二年九月十三日

関東戒嚴司令官 福田 雅太郎（印）

外務大臣伯爵 山本 権兵衛殿

露国汽船「レーニン」ニ閑スル件通牒

「レーニン」号ノ件ニ閑シ別紙ノ通神奈川方面警備部司令官ニ命令致候間及通報候也
(別紙)

戒命特号

命 令 九月十三日午後一時
於 東 京

関東戒嚴司令官

神奈川方面警備部隊司令官宛

追テ近日中露国汽船「トムスク」号モ亦上海ニ赴キ同地ニ於テ米穀ヲ積込ミ罹災者救済ノタゞ渡來ノ予定ナル由ニ付申添候

ハ最モ注意ヲ要スルモノナリ

右及申（通）報候也

レーニン号ニ閑スル命令通報ノ件

四九九 九月十三日

福田 関東戒嚴司令官ヨリ
山本 外務大臣宛

八 関東大震災関係 四九九

八 関東大震災関係 五〇〇 五一

六八六

五〇〇 九月十三日 海軍省副官ヨリ
外務省宛

レーニン号即時退去ニ関スル連合艦隊司令長

官ヨリノ発令送付ノ件

大正十二年九月十三日

海軍省副官

外務省御中

露艦「レーニン」ニ関スル件

露艦「レーニン」即時退去ニ関シ十三日午後三時別紙写ノ
通連合艦隊司令長官ヨリ発令有之候条
為参考

(別紙)

発連合艦隊司令長官

宛第三戦隊司令官

第一駆逐隊司令官

一、露艦「レーニン」ハ即時退去セシメラルコトニ決定
シ関東戒厳司令官ヨリ貴地陸軍指揮官ニ対シ左記要旨ノ
命令ヲ発セラレタリ

イ、露艦「レーニン」ハ即時戒厳地境及帝国領海外ニ退
去セシメラル

九月十三日午後三時交付

五〇一 九月十三日

陸軍省山下少佐ヨリ
松平欧米局長宛

十三日午前七時

陸軍省 山下少佐

松平欧米局長殿

露國義勇艦「シンビルスク」昨十二日午後一時横浜ニ入港

五〇二 九月十四日 関東戒厳司令部 発表

レーニン号退去願末ニ関スル件

第九十一号

九月十四日 関東戒厳司令部発表

露船「レーニン」号退去願末

予テ今次ノ震災ニ際シ在浦潮露国人ハ旧露國義勇艦隊汽船

「シンビルスク」号ヲ日本ニ派遣スル計画アル旨聞知セシ

カ去ル十一日戒嚴司令部ハ救恤品ヲ齎ラセリトスル露船

「レーニン」号(旧称「シンビルスク」)ヨリ日本東北地方ニ於ケル炭水補給港ノ所在ヲ尋ヌル無線電信ヲ接受セル

旨ノ情報ニ接シ関係各方面ト協議ノ上不取敢監視ニ便ナル

横浜ニ來ラシムルヲ適當ト認メ所要ノ回答ヲナサシメ同船

ハ十二日午後一時横浜ニ入港セリ

然ルニ十三日午前中ニ得タル諸情報殊ニ同船乗組員カ神奈

川外事課長ニ語レル所ヲ綜合スルニ同船ハ救恤ヲ名トシ革

命委員会及共産主義者ノ惡宣伝ヲ行フノ使命ヲ有シ且ツ其
ノ救恤品ハ限定セル範囲ニ提供スヘキコトヲ揚言シ或ハ本

震災ハ日本ニ於ケル革命達成上ノ天ノ使命ナリ等不穩ノ言
ス

ヲ弄セルノ事実アリシコトヲ聞知セルヲ以テ戒厳司令官ハ同船員ノ上陸及提供貨物ノ受領ハ漸ク安定ニ赴キツツアル戒厳令施行地域ノ治安ヲ攪乱スルノ危険アルモノト認メ断乎トシテ救恤品ノ受領ヲ拒絶シ且戒厳施行地域外ニ退去スヘキコトヲ命令セリ

右ニ依リ「レーニン」号ハ嚴重ナル監視ノ許ニ我力海軍ヨリ浦潮帰還迄ニ要スル炭水ヲ補給シ本十四日午前十時迄ニ退去スル筈ナリ退去命令伝達ノ為露船ニ赴キタル戒厳參謀等ニシテ其ノ他ノ貨物ハ之ヲ閲覧ニ供スルヲ避クルノ風アリタリト云フ

五〇四 九月十四日 山本外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺總領事代理宛（電報）

レーニン号退去ノ止ムヲ得ザル經緯ヲ説明シ

先方ノ誤解回避方訓令ノ件

第四四一号

「レーニン」号ハ津輕海峡ヲ經テ来航セルモノノ如ク十一日同号ヨリ入港地等ニ付無線電信ニテ問合アリタル処其後戒厳司令部ニ於テ同船ヲ横浜ニ入港セシムルコトニ決定シ

尚本件カ機微ノ關係ヲ有スルコトハ當方ニ於テモ充分ニ諒

得セル次第ニシテ救援隊ハ各國ノ分モ成ルヘク之ヲ拒絶スルニ決シ居タル關係上謝絶スルノ外ナキモ物品ノ給与ハ欣然之ヲ受クル方針ナリシ處先方ニ於テ前記ノ如キ言明ヲ為遅延スル見込ナリ

長ヨリ

「レーニン」号カ昨十二日横浜ニ到着シタルニツイテハ

同地ニ赴キ全權ニ対シ

一、帝國政府ハ右汽船ニ積載ノ救恤品等ハ之ヲ受ルモ其分配方法ハ政府ニ一任セラレタキコトヲ述ヘ

二、救護隊ノ上陸ハ通訳ノ不足、一般人心ノ激昂、戒厳令施行等ノ為メ陸上ニ於テ不快ナル出来事ノ生センコトヲ虞ルトノロ実ノ下ニ之レヲ拒絶スルコト之レニ対シテ飽ク迄モ先方ノ感情ヲ傷サルコト

三、尚先方ヨリ強テ上陸ヲ強要セル場合ニ対スル應酬振り等ニ關スル詳細ナル訓令ヲ受ケ同日十二時半鷗田領事ト共ニ横浜ニ向ケ自動車ニテ出発シタル処途中品川ニ於テ自動車ニ故障ヲ生シタル為メ頗ル遲延ニテ四時過神奈川警備隊司令部ニ到達シタル処同司令部ニハ電報、電話及鳩通信ニテ東京戒厳司令官ヨリ左記ノ命令到達シ居リテ

最初小官等ノ到達ヲ待チツツアリン陸軍及内務各省ヨリノ出張員ハ右命令接受ト共ニ既ニ「レーニン」号ニ向ウ為メ海軍司令官ノ許ヘ赴キタル旨ヲ知レリ

五〇五 九月十四日 群司副領事出張報告

レーニン号ニ關シ横浜出張ノ件

労農露国政府ヨリ今次ノ震災ニ對シ罹災民救護ノ為メ派遣セラレタル汽船「レーニン」号取扱方ニ關シ十三日松平局

八 関東大震災関係 五〇五

一、露国汽船「レーニン」旧名「シンビリスク」ハ即時
戒厳地域及帝国領海外ニ退去セシメラル

二、警備隊ハ海軍及地方長官ト協力シ速カニ同船ヲ退去
セシメ且ツ之レト管区内陸上トノ交通遮断ニ努ムヘシ

同船ノ積載シ来レル救恤品等モ一切之レヲ受ケ付サル
モノトス

右命令ハ小官等ノ受ケタル訓令ト根本的ニ相違スルモノナ
ルヲ以テ小官等ニ対シテモ何等カ外務省ヨリ訓令アルヘキ
モノト信シ直ニ警備隊司令部ヲ去リ神奈川県庁ニ赴キ之レ
ヲ確メタルモ何等ノ通報無キニヨリ折柄大麻事務官ト通話
中ナリソ大塚事務官ニ本件ニ関シ至急命令ヲ受ケ度キニヨ
リ東郷課長若クハ松平局長ニ小官ハ命令アル迄ハ「レーニ
ン」号ニ赴カサル旨ヲ伝ヘラ度シト依頼シ其返答ヲ待チ
ツツアリシ廻島本參謀、大麻事務官等ハ海軍司令官ト協議
ノ結果若シ先方ヨリ書面ヲ要求セラレタル場合之レニ応セ
サルコトニ夫々中央ト打合セノ上決議シ海軍司令官ノ処へ
赴カントシツアリタルヲ以テ重テ東京ヘ通話シタル処外
務省ニハ最早何人モ勤務シ居ラサル旨回答アリタルニヨリ

竹田大佐ハ「レーニン」号船長ニ対シ退去ヲ命セラレタ
ル旨ヲ伝ヘ十四日午前十時迄ニ出港ヲ命シ炭水ノ補給ハ

浦潮到着迄ニ要スルモノノ外尚二日分ヲ余分ニ供給スヘ
キ旨ヲ伝ヘ同船乗組ノ全權ニ対シテハ露国側ノ好意ヲ謝
スル旨ヲ述ヘタリ

トノミニテ其他ノ詳細ナルコト先方ノ態度戒嚴地以外ニ入
港ノコト等ニ関シテハ何等小官ノ質問ニ対シ何等承知セサ
ル旨ヲ回答何分ニモ竹田大佐横浜ヘ出張中ナレハ之レ以上
ニ詳細ナルコトヲ知ルヲ得サリキ尤モ同課長ノ言ニヨレハ
本件「レーニン」号ニ対スル帝国ノ態度急変シタルハ神奈
川県外事課長カ「レーニン」号ニ赴キタル際先方ハ自分等
ハ労農業者ヲ救恤セントスルモノニシテ一般ニ対シテハ救
恤スルモノニアラストカ又今次ノ震災ハ革命ノ為メニハ絶

好ノ時期ナリトカ語リタリト海軍司令官ニ伝ヘタルヲ同司
令官カ中央ニ電報セル結果從來ノ決定ヲ变更セルモノニシ
テ其結果前頭ノ命令発セラレタルモノナリト而シテ軍事課
長ハ戒厳地域外港湾ヘ入港許可ノ件ニ關シテハ何等承知シ
居ラス

右及報告候

大正十二年九月十四日

副領事 郡司 智磨（印）

五〇六 九月十四日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
山本外務大臣宛（電報）

露國側救援運動其ノ後ノ状況ニ関シ報告ノ件

六九七号

露國側救援運動其後ノ状況大要左ノ如シ

労農政府カ救援貨物ノ運賃ヲ免除シ国内各地ニ救援ノ意義

ヲ宣伝セル結果ナルカ歐露ニ於テハ莫斯科市「ソウエイト」

夫々金品ヲ拠出しシ「オデッサ」「キエフ」「バヨー」「チフ
リス」「ロストフ」「シンエフロポリ」等ノ重要都市亦何レ

モ金品ノ寄贈ヲ為シ居ル模様ニテ極東ニ於テハ齊多革命委

八 関東大震災関係 五〇六 五〇七

ノ件

五〇七 九月十五日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
山本外務大臣宛（電報）

レーニン号ニ関スル当地ノ新聞報告並ニ本
件ニ關シ當局ノ執リタル措置概要回電方稟請

六九一

鳴田領事ト協議ノ結果「レーニン」号即時退去ニ関スル処
置ハ小官等ニ何等命令ナキニヨリ陸海軍及内務省ノ処置ニ
任スルコトソ其儘引揚ケ帰京シ直チニ松平局長ニ本件ノ
経過ヲ報告セリ翌十四日ニハ局長ノ命ヲ受ケ陸軍省軍務局
軍事課長ヲ訪ヒ「レーニン」号其後ノ模様ヲ問合セタル處
同課長ノ得居ル情報ハ

竹田大佐ハ「レーニン」号船長ニ対シ退去ヲ命セラレタ
ル旨ヲ伝ヘ十四日午前十時迄ニ出港ヲ命シ炭水ノ補給ハ

浦潮到着迄ニ要スルモノノ外尚二日分ヲ余分ニ供給スヘ
キ旨ヲ伝ヘ同船乗組ノ全權ニ対シテハ露国側ノ好意ヲ謝
スル旨ヲ述ヘタリ

トノミニテ其他ノ詳細ナルコト先方ノ態度戒嚴地以外ニ入
港ノコト等ニ關シテハ何等小官ノ質問ニ対シ何等承知セサ
ル旨ヲ回答何分ニモ竹田大佐横浜ヘ出張中ナレハ之レ以上
ニ詳細ナルコトヲ知ルヲ得サリキ尤モ同課長ノ言ニヨレハ
本件「レーニン」号ニ対スル帝国ノ態度急変シタルハ神奈
川県外事課長カ「レーニン」号ニ赴キタル際先方ハ自分等
ハ労農業者ヲ救恤セントスルモノニシテ一般ニ対シテハ救
恤スルモノニアラストカ又今次ノ震災ハ革命ノ為メニハ絶

第六九八号

(九月十八日接受)

貴電第四三五号ノ趣ヲ伝ヘタル際ニ於ケル「ハーヴィン」ノ態度及其後右内容ヲ伝ヘ聞ケル当地有力者側ノ感想如何

等夫レトナク注視シ居タル処何レモスクアルベント為セル

モノノ如ク該内容ハ新聞ニモ発表セザリシ處昨今両日ニ亘

リ当地新聞ハ十三日發「ロスター」電報トシテ大要「日本政

府ハ労農政府ノ日本国民ニ對スル同情竝ニ救援隊派遣ニ対

シ謝意ヲ表シ寄贈品ハ他国同様政府ノ処置ニ任せラレタキ

旨回答セリ」ト具合能ク報道シ居リ今ニ何等論評ヲ試ミズ

尚当地救援委員長其他關係者ハ十四日本官ニ對シ「レーニ

ン」号ヨリハ今迄何等ノ通信無キモ多分寄贈品ヲ引渡シテ

一応引揚グルニ至ルベシト語リ居タリ

「レ」号ハ十二日頃神戸著ノ筈ナルニ今ニ当地ニ消息達セ

ザルヲ以テ露側ハ甚ダ懸念シ居リ且日本ノ同艦隊ニ對スル

態度ニ關シ巷間亦種々好マシカラザル風説伝ヘラレ居ルニ

付該一行ノ消息竝ニ本件ニ關シ當局ノ執ラレタル御措置概要折返シ御回電相成タク右報告旁々稟請ス

五〇八 九月十七日

在浦潮渡邊總領事代理ヨリ

山本外務大臣宛(電報)

第七〇二号

(九月十八日接受)

貴電第四四一號ニ關シ

十七日後藤通訳生帶同「ハーヴィン」ヲ訪問慎重御下訓ノ趣ヲ伝ヘタル後尚本官トシテ斯ル不快事ノ原因ガ第一「レ

ニン」号ガ囊ニ彼レ程打合セ置キタル神戸ニ立寄ラズシテ余ノ予告ヲ顧ミズ專断ニ横浜ニ向ヒタルコト第二予ガ吳

吳モ注意警告ヲ与ヘ置キタルニ拘ラズ「バチス」ガ露側一手ノ主義解ニ基キ帝国ノ実体及現状ニ對シ不穩當ノ広言ヲ

為シタルニ在ル所以ヲ説キ今次ノ責ガ露側ニ在ルベキヲ暗示シタル処「ハ」ハ最困惑憂慮ニ堪ヘザル体ニテ御來示ノ

趣ハ早速其筋ニ伝フベキ處露側ガ折角拳國的ニ官民非常ノ熱情ヲ以テ救援ヲ提供セルニ今日ノ結果ヲ見ルニ至リタルハ最遺憾ニ堪ヘザル処ニシテ本件ガ如何ニ反響スルカハ之ヲ知ラズ「レ」号ガ何故先づ横浜ニ向ヒタルヤハ知ラザルモ成ルベク速ニ罹災地ニ達セントシタルナランカ而カモ貴

示「バチス」ガ為シタルトノ不穩當広言云々ハ有得ベキコ

トト信ジ難シ云々(ト)弁ジタル而已ニテ深ク本件ヲ論弁セズ單ニ其筋ニ伝達スルノ態度ヲ持シ居タリ

出帆以来今日迄何等消息ナシト伝ヘラルル「レ」号ハ、二日中ニ帰浦スベキ処該救援隊帰着ノ上ハ今回ノ事件ニ向ヒ

シ百方我當局ノ処置態度ヲ批難攻撃シ挙國的ニ内外ニ向ヒ惡宣伝ヲ為ス憂アリ両國ノ關係乃至当方面在留官民ノ立場

上本件ノ勃発ハ誠ニ遺憾ニ不堪當方トシテハ御訓令ニ基キ本件ノ成行ニ充分注意致スヘキモ尚政府ニ於テ執ラレタル

本件対策乃至本官ノ心得フベキ諸点有之ラバ御回示相成度シ

五〇九 九月十八日 閣議決定

レーニン号來航ノ經緯並ニ之ニ對スル措置振

ノ大綱ニ關スル件

九月十八日閣議ノ席上次官ヨリ大体ノ趣旨ヲ説明

シ尚未段「今後先方ヨリ」以下ヲ讀上ヶ承認ヲ得

タリ

露國汽船「レーニン」号來航ニ關シテハ当初在浦潮渡邊總領事代理ヨリ露國側カ同船ニ罹災者救恤品並傷病者救護隊

官ハ十三日午后一時命令ヲ發シ救恤貨物ハ受納スル能ハス

且同船ニ対シ戒厳地域並帝国領海外ニ可成速ニ退去スヘキ旨ヲ命シ先方希望ニ応シ炭水ヲ補給シタル上同船ハ十四日浦潮ニ向ケ出発セリ

「レーニン」号ニ対スル右ノ措置ハ不取敢在浦潮渡辺総領事代理ニ電報スルト共ニ露国側ニ於テ誤解ヲ生スルカ如キコトナキ様篤ト説明ヲ加フヘキ旨一応ノ訓令ヲ与ヘ置キタルカ其後露国隣接諸国並浦潮及「ペトロパウロフスク」方面ヨリノ報道ニ依レハ労農官民ハ震災救援ノ為引続キ諸種ノ方法ニ依リ金品ノ蒐集ニ努力シ居ル模様ナルヲ以テ此際之等露国側救援ニ対スル今後ノ措置振ヲ決定シ置クノ要アリ然ルニ救護隊ノ派遣ニ付テハ前記在浦潮總領事代理宛訓令中ニ指摘セルト同様ノ理由ニ基キ之ヲ拒絶スルコト当然ナルモ救恤品ノ提供ヲモ一概ニ之カ受領ヲ拒ムハ日露關係ノ現状ニ顧ミ必シモ得策ナリト云フヲ得ス蓋シ現ニ浦潮ニ在留スル邦人約八百アリ震災救援問題ニ対スル我方ノ措置ニ付露国側ノ反感ヲ誘起ストキハ政治的並經濟的ニ日露ノ關係ニ惡影響ヲ及ボスコト明カナリ殊ニ最近震災地方ニ於ケル朝鮮人迫害ノ報道浦潮方面ニ伝ヘラレ同地鮮人等ハ既ニ何等カ企画スル所

五一〇 九月十八日 山本外務大臣ヨリ
在浦潮渡辺総領事代理宛（電報）

レーニン号退去ノ事情説明並ニ将来ノ日露間
ノ国交ニ鑑ミ柔軟ナル対策方指示ノ件

第四四九号

「レーニン」号退去ニ關シテハ往電第四四一號申進ノ通ナル処尚戒嚴司令部ノ命ヲ受ケ退去ヲ申渡シタル武田大佐ノ帰来報告スル処ニヨレハ同大佐ハ十三日午後同船ヲ往訪先ツ船長ニ面会シ同船ハ遲滞ナク日本領海ヲ退去スヘキ旨ノ戒嚴司令官ノ命令ヲ伝達シタル処船長ヨリ炭水供給ヲ求メタルニ依リ之ヲ承諾シ次テ救護團長「バチス」ト對談シ露國力遠路救援隊ヲ派遣セルヲ謝シ其ノ好意ハ日本人ノ深ク感銘スル処ナルモ現在罹災地方ノ情況ハ外國救護班ヲ煩ハスノ時期去リ且救護品モ之ヲ受クルノ要ナキニ至リタレハ本船ト共ニ日本ヲ退去セラレタント述ヘタル処「バ」ハ元來本船ハ日本ノ招請ニ依リ横浜ニ入港シタルモノニシテ日本政府モ之ヲ承知セルハ浦潮出港ノ際日本領事ノ熱心ナル見送ヲ受ケタルニ依ルモ明ナリ右退去要求ハ横浜ニ入港スヘキ旨ノ前電ノ精神ト相違セリト抗弁シタルニ付武田大佐

アルヤノ風説アリ万一之等鮮人カ赤派ト提携シテ在留邦人ニ迫害ヲ加フルカ如キコトアラハ事態頗ル重大ナルヘキノミナラス一方本邦漁業者並林業者等ニ及ボス影響ハ予メ之ヲ考慮セサルヘカラス加之労農側ハ裏面ハ兎モ角表面ニ於テハ人道的救濟ヲ標榜シ併テ日露關係ノ改善ニ資セムトスルモノナルヲ以テ此際先方ノ提供ヲ一概ニ拒絶スルハ却テ将来日露両國間ノ事態ヲ悪化シ面白カラサル影響ヲ齎スノ虞ナシトセス從テ今後先方ヨリ更ニ金品ノ提供ヲ申出シル場合先方カ之等金品ヲ罹災労働者ノミニ配布シ又ハ自ラ之カ頒布ニ當ル等ノ条件ヲ付スルコトナク專テ帝国政府ノ処分ニ任スルノ意思アルニ於テハ之ヲ受領スルコト然ルヘク只先方カ之等物品ノ輸送ニ充ツヘキ船舶ノ便宜ヲ欠ケルニ顧ミ寧ロ在浦潮帝国領事ニ於テ同地露國官憲ヨリ之ヲ受領シ本邦船舶例ヘハ鳳山丸便等ニ依リ輸送ヲ行ハシムルコト適當ナリト認メラル若シ先方ニ於テ強テ露國船ヲ以テ送達センコトヲ申出ル場合ニハ更ニ同総領事代理ヲシテ請訓セシムルコトニ致度シ

八 関東大震災関係 五一

六九六

関係ニ悪影響ヲ及ホスヘク殊ニ震災地方ニ於ケル鮮人迫害

ノ報道浦潮方面ニ伝ヘラレ同地鮮人等ハ既ニ何等カ企画ス

ル所アルヤノ風説アリ万一切等鮮人カ赤派ト提携シテ在留

邦人ニ迫害ヲ加フルカ如キヨトアラハ事態重大ナルノミナ

ラス一方本邦漁業林業者等ニ及ホス影響モ予メ考慮セサル

ヘカラス加之労農側ハ裏面ハ兎モ角表面ニ於テハ人道的救

援ヲ標榜シ併セテ日露関係ノ改善ニ資セムトスルモノナル

ヲ以テ此際先方ノ提供ヲ一概ニ拒絶スルハ却テ将来日露間

ノ事態ヲ悪化シ面白カラサル影響ヲ齊ラスノ虞ナシトセス

従テ今後先方ヨリ更ニ金品ノ提供ヲ申出ツル場合先方カ此

等金品ヲ罹災労働者ノミノ配布ニ限リ又ハ自ラ之カ頒布ニ

当ル等ノ条件ヲ付スルコトナク専ラ帝国政府ノ処分ニ一任

スルノ意思アルニ於テハ之ヲ受領スルコト然ルヘク唯先方

カ此等物品ノ輸送ニ充ツヘキ船舶ノ便宜ヲ欠ケルニ顧ミ寧

ロ貴官ニ於テ浦潮露國官憲ヨリ受領シ本邦船例ヘハ鳳山丸

便等ニ依リ輸送セシムルヲ適當ト認メ若シ先方ニ於テ強テ

露國船ヲ以テ送達セムコトヲ申出ツル場合ニハ更ニ貴官ヲ

シテ請訓セシムルコトニ決定ヲ見タルニ付貴官ハ右趣旨ヲ

体シ可然御措置アリタシ

第五六二号

往電合第二〇六号ニ関シ

五一 一 九月十八日

山本外務大臣ヨリ
在中国芳沢公使宛（電報）

レーニン号退去ノ事情ニ關シ通報ノ件

「レーニン」号來航ニ付テハ当初在浦潮渡辺總領事代理ヨリ露國側カ震災救恤品並傷病者救護隊ヲ搭載セル汽船ヲ出来得ル限り速ニ本邦ニ派遣方申出テ且人道的見地ヨリ頻リニ之ヲ主張セル旨來電アリタルヲ以テ帝国政府ハ露國側申出ハ感謝ニ堪エサル処ニシテ物資ノ供給ハ欣然之ヲ受納スヘキモ傷病者ノ収容救護ニ付テハ施設既ニ其ノ緒ニ就キ大體懸念ナキ状態ニアルノミナラス救護隊ニ依ル援助ハ言語不通、通訳不足等ノ為円滑ニ事務ヲ處理シ得サル虞アルヲ以テ米国其他諸國ヨリノ同様申出ニ対シテモ成ルヘク謝絶シ居ル現状ニ顧ミ露國側ノ好意アル申出ヲ謝絶スルノ已ムヲ得サル事情ヲ諒トセムコトヲ希望スル旨同總領事代理ヨリ先方へ回答方訓電セル処「レーニン」号ハ右回答ヲ待タスシテ浦潮ヲ出発シ本月十二日横浜ニ入港セルカ往電合第一〇六号ノ通戒嚴司令官ハ同船ニ可成速ニ退去セムコトヲ

第五六三号

往電合第二〇六号ニ關シ

「レーニン」号來航ニ付テハ當初在浦潮渡辺總領事代理ヨリ累次電報ニ接シ帝国政府並国民ノ衷心感謝ニ堪エサ

ル旨ヲ伝ヘラルト共ニ「レーニン」号ニ對スル処置ニ関シ誤解ナキ様説示セラレタシ

並國民カ震災ニ対シ甚大ノ同情ヲ寄セ居レルコトハ隣接各

地ヨリ累次電報ニ接シ帝国政府並國民ノ衷心感謝ニ堪エサ

ル旨ヲ傳ヘラルト共ニ「レーニン」号ニ對スル処置ニ關

シ誤解ナキ様説示セラレタシ

第七〇五号

（九月十九日接受）

往電第七〇二号ニ關シ「レーニン」号ハ十八日朝入港シタ

ルニ付本官ハ救援委員長「レーワイン」（外國貿易全權）

ヲ訪問シ略前電「ハーウィン」ニ對スルト同様ノ談話ヲ為

スト同時ニ本件ニ關スル露側ノ報道乃至態度ヲ探リタルニ

「レ」ハ「レ」号ガ單ニ目的ヲ達セズシテ引返（セル）旨

ノ無線ニ接シタルノミニテ何等本件ノ詳細ヲ知ラザルモ

「バチス」ガ日本側ノ言ハルル如キ不穩ノ言明ヲ為セリト

ハ信ゼス何分析角露側ガ白熱的同情ヲ表セルニ対シ本件ノ

勃發ヲ見タルハ意外トスル処ニシテ露國民ノ憤慨ハ充分想

像シ得自分ハ曩ノ貴政府ノ回答ニ依リ我ガ救援ハ実現出来

命シタルヲ以テ同船ハ十四日午前十一時浦潮ニ向ケ横浜ヲ出帆セリ

就テハ右ノ經緯ヲ直ニ渡辺總領事代理ニ電報スルト共ニ同

總領事代理ヨリ露國當局ニ對シ篤ト事情説示方左ノ通訓令

シ置キタリ

本件カ機微ノ關係ヲ有スルコトハ當方ニ於テモ充分ニ諒得

セル次第ニシテ救援隊ハ各國ノ分モ成ルヘク之ヲ拒絶スル

ニ決シ居タル關係上謝絶スルノ外ナキモ物品ノ供与ハ欣然

之ヲ受クル方針ナリシ処先方ニ於テ前記ノ如キ言明ヲ為セ

ルヤノ報道ハ震災後京浜地方ノ秩序未タ回復セサル今日著

シク警備當局者ノ神經ヲ刺戟シ取締上已ムヲ得ス同船ニ退

去ヲ命スルコトニ急遽方針ヲ変更シ又救濟貨物ニ付テモ労

勵者ノミニ対シ之ヲ頒布スルカ如キハ此際到底不可能ナル

ヲ以テ之カ受領ヲ辞退スルコトニ決定セル次第ナルカ東京

横浜地方ハ目下戒嚴令実施中ニモ有之且交通通信狀態不完

全ナル為中央部ト地方トノ連絡モ円満ヲ期シ難ク或ハ「レ

ーニン」号ニ対シ右ノ趣旨ガ充分徹底セザルヤノ虞レモア

リ得ヘキニ付貴官ハ右ノ事情御含ノ上先方ニ対シ篤ト説明

ヲ加ヘラレ尚ホ貴地露國官憲ノミナラス歐露ニ於テモ政府

八 関東大震災関係 五三

六九八

ザルモ同情ノ物資ハ回収セラルルコト考へ居タリ（往電第六九八号参照）貴国政府ハ「レ」号貨物並目下全露的ニ

醸出サレアル義捐金品モ拒絶サルモノニヤト尋不居タリ依テ本官ハ貴電第四四一号後段及同四三五号ノ御趣旨ヲ繰

返シ本官ハ予テ斯ル不快事ヲ予防セン為ニ吳々モ露側ニ注意セルニ閑セズ「レ」号ガ本件ヲ招致シタル廉ニ依リ徒ニ

露国民ノ不当ナル憤慨ヲ惹起セシムル事ハ當局者ノ慎重考慮ヲ要スル点ナリト考エル旨ヲ答へ置キタリ就テハ本件ニ

閑シテハ露側ヨリ正式ノ照会並予想サルル惡宣伝ニ対シ本官ニ於テ心得ヘ置度ニ付左ノ諸点折返シ御回電相成度ク

(一)「レ」号ノ退去及救済貨物ノ拒絶決定ハ戒嚴司令官ノ処置ト為スカ帝国政府ノ御処置ト為スベキカ

(二)右退去ハ單ニ戒嚴地域ニ限ラレタルヤ又ハ国外ノ意味ナリシヤ又右命令ハ文書ニテ為セリヤ否ヤ

(三)「レ」号ノ帰浦ハ同船ノ自決ニ基ケルヤ或ハ本国トノ打合ニ閑シ何等カ申出デザリシヤ

此等ニ対スル我當局ノ取扱振如何ヤ

四「バチス」ノ不穩公言ハ文書ヲ以テ為サシメタルヤ單ニ口頭ナリシヤ

(六)前項彼我間折衝ノ内容成ルベク詳細承リタシ
（六）露側ヨリ本船並目下醸集中ノ金品寄贈方申込アル場合如

何応答然ルベキヤ（前記「レーウィン」ノ言御参照）

(七)本件ニ關シ帝国政府ニ於テ對露声明上何等御措置相成ル場合ハ至急御回示ヲ請フ

五三 九月十九日

在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

露國側ヨリ聽取シタル事情報告ノ件

第七〇六号

（九月二十日接受）

往電第七〇五号ニ閑シ十八日夕本官ガ当港港務局長及「ハ」等ヨリ聞キタル「バチス」側ノ報告ナルモノ大要左ノ通り本船ハ途中ヨリノ無線電照ニ対シ日本側ヨリ横浜ニ来レトノ指令ニ從ヒ十二日同港ニ達シタル処日本官憲ハ本船ヲ自國艦船及外國艦船ノ間ニ停留セシメ警戒最モ厳重ヲ極メ最初積荷目録、船員名簿並ニ救援隊ノ名簿提出方ヲ命シタル迄ニテ格別談判ランキ事モナク（從テ「ハ」ノ不穩公言ナド為ス機会モ無カリシ且仮令有之シトテ斯ル愚暴ノ言ヲ為サズト弁明セリト）過ギシガ其後日本官憲ハ直ニ途中領海内何レノ地点ニモ立寄ル事ナク同艦ニ退去スベキヲ命令シタ

ルニ依リ其ノ理由ヲ質問シタルニ日本ハ救援ヲ受クルノ必要ナシト答ヘルノミニテ「バチス」ガ入港ニ関スル日本側無線ヲ示シ一應東京政府ト電照方乃至露國トノ通信許可方ヲ申出デタルモ之ヲ許サズ飽运出港ヲ迫リタルニ依リ文書ニテ退去命令ヲ要求シタルモ承認セザル露國ニ対シ其ノ要ナキ旨ヲ答ヘタルニ依リ僅ニ炭水ノ無料供給ヲ受ケ十四日前日本駆逐艇二隻警護ノ下ニ帰浦ノ途ニ就クベク余儀無クセラレタリ云々ト尚「ハーウィン」ハ露國ガ折角過去ヲ捨テテ全露的ニ日本ノ罹災民ニ救援セントセルニ対シ日本官憲ガ横浜ニ呼入レナガラ何等理由ナク「レ」号ノ追放ヲ命令シ碇泊中モ殆ド敵國船ニ対スル如キ態度ニテ友好人道的目的ニ赴ケル同船一行ヲ遇シ米、英其他ノ艦船乗組員等ガ自由ニ陸上ト往復救援事業ニ從事セルニ対シ露船ニハ一人モ上陸ヲ許サズ出港ニ際シ米、英其他ノ艦船トハ告別ノ信号ヲ交シタルモ日本ハ挨拶モナサザル代リニ駆逐艇ニテ送リ出サレタル等ノ事實ハ露側（脱）本件ガ如何ニ露民ニ影響ヲ与フルヤ憂慮ニ堪ヘズ貴説島田領事一行ガ十三日横浜ニ赴キナガラ十四日出帆迄ニ何等処置ヲ執ラザリシハ右横浜軍憲ノ処置ハ貴政府ノ命令ト解スベキヤ云々ト憤慨

（六）前項彼我間折衝ノ内容成ルベク詳細承リタシ
（六）露側ヨリ本船並目下醸集中ノ金品寄贈方申込アル場合如

何応答然ルベキヤ（前記「レーウィン」ノ言御参照）

(七)本件ニ關シ帝国政府ニ於テ對露声明上何等御措置相成ル場合ハ至急御回示ヲ請フ

五一三 九月十九日

在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

露國側ヨリ聽取シタル事情報告ノ件

第七〇六号

（九月二十日接受）

往電第七〇五号ニ閑シ十八日夕本官ガ当港港務局長及「ハ」等ヨリ聞キタル「バチス」側ノ報告ナルモノ大要左ノ通り本船ハ途中ヨリノ無線電照ニ対シ日本側ヨリ横浜ニ来レトノ指令ニ從ヒ十二日同港ニ達シタル処日本官憲ハ本船ヲ自國艦船及外國艦船ノ間ニ停留セシメ警戒最モ厳重ヲ極メ最初積荷目録、船員名簿並ニ救援隊ノ名簿提出方ヲ命シタル迄ニテ格別談判ランキ事モナク（從テ「ハ」ノ不穩公言ナド為ス機会モ無カリシ且仮令有之シトテ斯ル愚暴ノ言ヲ為サズト弁明セリト）過ギシガ其後日本官憲ハ直ニ途中領海内何レノ地点ニモ立寄ル事ナク同艦ニ退去スベキヲ命令シタ

受領ノ手続及同件ヲ説明セルニ対シ「ハ」ハ之ヲ傾聽セザルカ如キ非礼ノ体ニテ自説ヲ固持シ「要スルニ日本ハ吾人ノ援助ヲ受クルヲ欲セザルヤ」ト中央政府ガ為スベキ筋ナル越權ノ問詰タルニ対シ日本代表ハ暫ク躊躇ノ後「欲セズ」ト答フルノ已ム無キニ至ラシメ爰ニ談判ハ破裂シ最後ニ軍憲ヨリ領海外ニ退去スペク命令サルルニ至リタリ

乗組医師其ノ他知識階級ハ專断的ノ「バ」ノ態度ヲ憂ヒ全員ノ評議会ヲ開キ善後策（赤十字社ニ引渡方）ヲ計ラントシタルモ「バ」ハ他ノ党员トノミ計リ評議会ヲ許サズ終ニ取返シノ付カサル今次ノ失策ヲ演シタリ一行中心アル多数者ハ日本ノ今回ノ態度主張ヲ至当トシ寧ロ一切ノ責任ヲ「バ」ニ帰セシメ居ルモ党派関係上何人モ是ヲ公言スルヲ得ス自分モ神戸ニ上陸ノ後「アントノフ」及「ウヲズネ」ト打合セノ上徐ニ去就ヲ定メントシタルニ今回「バ」ノ御蔭ニテ無駄ノ不愉快ナル旅行ヲ為シタリ云々ト訴ヘ居タリ右「マチヲキン」ノ説ハ寧ロ信頼スヘキモノト考ヘタルニ依リ前顯「ハーウィン」ノ言ハ「バチス」ニ過ラレ居ルカ乃至ハ「バ」帰来後當局党员間打合セノ結果殊更ニ我方ニ対スル宣伝トシテ企テタルモノニ外ナラスト考ヘラルモ

「マ」ノ説ヲ材料ニ「ハ」側ニ直ニ反駁スルハ「マ」ニ對シ氣ノ毒ナルヲ以テ往電第七〇五号伺出ニ対スル御回示ヲ俟テ露側ノ宣伝振リ如何ニ依リテハ單ニ「レ」号乗組員ノ言トシテ露側新聞等ニ反駁致シタク心組ミ居ルニ付右御諒知相成タク右報告旁（終）

五一四 九月十九日 在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

県機関紙レーニン号問題ニ關スル記事掲載ノ件

第七〇七号

（九月二十日接受）

往電第七〇六号ニ閲シ

十九日県機関紙ハ日本政府ハ其ノ「プロレタリヤ」ニ対スル援助ヲ容レス日本国民ノ對露行動ハ疑ナシ如何ニ之ヲ解スヘキヤト題シ「レ」号ガ無線ニテ日本外務省ノ指示ニ依リ十二日横浜ニ入港シタル処同港務官ハ直ニ來船本船ガ震災後外國ヨリノ第一來援船トシテ謝意ヲ表シ暫時ノ後憲兵ハ來航ノ目的貨物員數等聴取ヲ為シ爾後屢訪問サレタル内日本側ハ貨物ヲ海軍ニ引渡方ヲ提議シ之ニテ談判終了シタリ翌日ニ至リ陸海軍憲（内樋口大尉アリ）來船シ救援ハ十

分ナルコト外部ヨリ日本労働者ヘノ救援ハ必要ナキコト並政府ノ決定ニ依リ「レ」号ハ日本ノ領海外ニ退去スヘキヲ命セラル旨ヲ申渡サレ十四日出帆帰浦セリ日本外務省ノ最初ノ電報ハ明カニ同船ヲ横浜ニ招致シ本船ノ派遣ニ関シテハ渡辺ト打合セ濟ナリシカ日本政府ノ行為ヲ如何ニ解スヘキヤ云々ト掲載シ尚詳報ヲ統載スル模様ナリ

五一五 九月十九日 在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号事件ニ關シ赤旗紙主筆ゴンチャルト会談ノ件

往電第七〇八号

（九月二十日接受）

レーニン号事件ニ關シ赤旗紙主筆ゴンチャル

因スルガ如ク同船乗組者側が伝ヘタル結果ニ基キ昨今當市民間ノ風評ハ本件ヲ概シテ露側自ラノ罪トスルモノノ如ク當局亦右事情ニ鑑ミタルカ未ダ横浜談判ニ関シ何等公表ヲ為サズ十九日赤側夕刊紙ハ前電報告ノ県機関紙ト略同様ノ記事ヲ社説欄ニ掲ゲ居ルノミナリ尤モ今後モ該談判ノ内容等公表ハ為サズルベキモ相當論評乃至同港碇泊中「レ」号

隊員及自國窮民ノ面前ニ於テ徹頭徹尾罪人乃至敵国人ニ対スルガ如キ取扱ヲ為シ寧ロ滑稽ニ近キ程ノ無益ノ警戒振ヲ発揮シタルハ吾人ニ一層憤慨ノ念ヲ起サシメタリ云々ト語リタルニ依リ本官ハ是第一ニ露側ガ神戸ニ向ハザリシ罪ナルヲ指摘シ其他適宜弁駁ヲ加ヘ置キタリ且予ノ接手シ居ル公報ノ外「レ」号実見者側ノ確報ニ拠ルモ今回ノ事件ハ「バチス」側失策ノ罪ナリト確信スルニ依リ露側ガ自己ノ過失ヲ蔽ハム為事実ヲ枉ゲテ輿論ヲ悪化スルコトナカラム

八 関東大震災関係 五一六

七〇一

ヲ望ム旨友誼的ニ述べ置キタリ

五一六 九月二十日 在浦潮渡辺総領事代理宛（電報）

レーニン号退去ノ際ノ模様ニ関シ回報ノ件

第四五四号

貴電第七〇五号ニ閲シテハ其後往電第四四九号ニ依リ既ニ

大体御承知ノ事ト思考スルモ尚貴官舍ミ迄ニ電報ス

(一)「レ」号退去及物資受領拒絶ハ十三日午前閣議ノ席上ニ

於テ横浜警備中ノ第三戦隊司令官ヨリノ報告披露セラレタ

ル結果急遽決定シ戒厳司令部ハ直ニ退去命令ヲ申渡シタル

次第ナルモ閣議ノ趣旨ハ實際申渡シタル命令トハ幾分相違

スル点アリ

(二)武田大佐ハ口頭ニテ戒厳司令部ノ命令ヲ伝ヘタリ右命令

ニハ戒厳地域外並帝国領海外ニ退去セシムル旨ノ記載アリ

タルモ右ハ戒嚴司令部ニ於テハ戒嚴地域内ノ領海ヲ意味セ

ル処文言ノ不備ナリシ為誤解ヲ生ジ日本帝国全部ノ領海外

ニ退去スルコトノ命令ヲ伝ヘタリトノコトナリ

(三)同船帰浦ハ前記武田大佐伝達ノ命令ニ基クモノニシテ其

際本国トノ打合セニ閲シ何等申出テタルコトヲ聞カス

(四)初メ當方ヨリ所謂不穩ノ言辞ヲ弄シタルモノノ何者ナル
カニツキ戒嚴司令部ニ問合シタル處同部ヨリ「バチス」カ
神奈川県外事課長ニ對シ不穩ノ言辞ヲ弄シタル旨武田大佐
ヨリノ確報ニ接シタル旨通報アリタルヲ以テ不取敢往電第

四四四号ヲ以テ電報シ置タルモ其後為念本省員ヲ横浜ニ派
シ調査シタル處ニ依レハ外事課長カ通訳ヲ伴ヒ同船ニ至レ
ル際ニハスカル事實ナク唯私服ノ県警察部員等ニ対シ「ゴ
ンチャール」ガ不穩ト認ムヘキ言辞ヲ漏セル事實アリタル
モノニシテ「バ」ニ付テハスカル事實ナキモノノ如シ

(五)及(六)ニ付テハ往電第四四九号参照

(七)本件ニ閲シテハ戒嚴司令部ニテ発表シタル以外別ニ我方
ニ於テ公表セサル意図ナリ尚在支公使ニ於テ「カラハン」
ノ申出ニ応シ近々會見ノ筈ナル處其際先方ヨリ本件ニ言及
スル場合ニハ同公使ヲシテ大體貴官宛訓令ト同様ノ趣旨ヲ
説明セシムル様訓令シ置ケリ

將又貴電第七〇二号「レーニン」号横浜入港ニ付同船ハ津
輕海峡ヲ經テ來航シタル關係上元来横浜方面入港ノ意図ヲ
有セシモノト推測シ得ルモ往電第四四一号冒頭所報ノ通戒
嚴司令部ノ都合ニヨリ同船ニ対シ横浜ニ直航スル様電報シ
嚴司令部ノ都合ニヨリ同船ニ対シ横浜ニ直航スル様電報シ

タル次第ナルニ付此点御含置カレタシ

五一七 九月二十日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号事件ニ関シテハ露國側ニテ特ニ宣

伝的記事ヲ掲げ居ラザル旨報告ノ件

第七一〇号

（九月二十一日接受）

往電第七〇八号ニ閲シ

本官ハ本件勃発以來貴電第四四一號ニ基キ殊ニ往電第七〇

六号マツラキン内談以来一層強ク露側有力者間ニ半宣伝的

ニ「バ」等ノ行動ヲ鳴ラシタル處中ニハ单（ニ）労働（者）

ニ限ル援助ヲ主張スルモ日本政府ガ妨グルノ不都合ヲ鳴ラ

スモノアルモ之ニ対シテハ然ラバ仮ニ労農露國ニ同様ノ天

災アル場合或ル外國ガ露國ノ「ブルジュイ」階級ニ限りリ寄

贈方ヲ申込ム場合露國側ハ如何ニ取扱フヤ等ト反問シ且露

側ガ特ニ階級ヲ指定セザルモ實際ハ困窮セル労働者ニ公平

ニ配布サルベキヲ説キ置キタルガ本件ハ實際露國官民共一

般ニ「バ」ノ失策タルヲ自認セルモノノ如ク二十日露字新

聞殊ニ既報縣機関紙モ何等「レ」号事件ニ閲スル宣伝の記

事ヲ掲ゲズ默シ居ルニ反シ歐各地ニ於ケル及当方面ニ於ケ

八 関東大震災関係 五一七 五一八

五一八 九月二十日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

日本政府ノ意向ヲハーヴィンニ伝達ノ件

第七一一号

（九月二十一日接受）

貴電第四四九号御訓令ノ意ヲ（不明）「ハ」ニ談ジタル処
「ハ」ハ安堵満足ノ体ニテ直ニ其筋ニ夫々電照スベキヲ答
へ尚為念文書ニテ通知ヲ吳レズヤト希望シタルモ文書ニテ

八 関東大震災関係 五一九 五二〇

「レ」号事件ヲ「レフア」スルハ勢ヒ「バ」ノ不都合失策ヲ挙ゲザルベカラズ之ハ先方ノ欲セザル処ナルベシトテ体好ク断リタル処「ハ」モ其儘沈黙シ本官ニ対シ「レ」号事件ハ出先者間ノ行違ヒニシテ同号ノ寄贈品其他目下引続キ熱心ニ蒐集中ノ義捐金品ニ対シテハ日本政府ハ依然快受セラルルヲ聞キタルハ目下露側ノ不可解トセル処ヲ水解セルヲ喜ブ現ニ当地言論界モ「レ」号ニ対スル日本側ノ態度処置ニ対シ疑惑ノ中ニ在リタルモ御来示ニ依リ积明スペキハ両国ノ為同慶ニ不堪云々ト語リ居タリ依テ本官ハ御訓令ノ趣旨ニ基キ適宜応酬シ尚先方ヨリ何等申出アルニ於テ之ヲ伝達スベキヲ述べ置キタリ為念

五一九 九月二十一日 伊集院外務大臣ヨリ

在上海矢田総領事宛（電報）

露船トムスク号来航ノ事実ノ有無ニ付回電方

訓令ノ件

第一四九号

往電合第二〇六号「レーニン」号横浜入港ノ際同船乗組員ノ我官憲ニ語リタル処ニ依レハ露船「トムスク」号モ震災救濟ノ為貴地ニ於テ救護品ヲ積込ミ本邦ニ来航ノ筈ナル趣

第七一四号

貴電第四四三号及貴電合第二〇二号ニ閲シ

「レーニン」号本邦退去並東京震災當時ニ於ケル鮮人暴動事件ニ閲スル当地鮮人動静調査最近迄ノ分左ノ通り

(一)「レーニン」号本邦退去ニ閲シ当地一般鮮人ハ大体ニ於テ無関心ナルガ如キモ露側民警ハ（脱）鮮人ノ比較的無智ナル実ニ驚クニ堪ヘタリ今次ノ震災ハ事実差迄大ナラザルニモ閑セズ平素物資窮乏シ居タル為此ノ機ヲ利用シテ誇張的ニ其ノ損害大ナルヲ列国ニ訴へ露國ハ之ヲ過信シ直ニ救援セントシテ「レ」号ヲ派遣シタルモ事実相違ノ廉ヲ發見シテ大ニ憤慨シ絶対ニ貨物ヲ日本政府ニ交付セズ其儘引返シタリ云々ト言触シ一般鮮人又之ヲ信ズルモノノ如シ然レドモ反日鮮人幹部ニ於テハ特ニ事ノ真相ヲ察知シ日本政府ノ手ヲ経テハ到底労働民衆ニ対シテ革命宣伝ノ目的ヲ達スル能ハズ何等カノ方法ヲ講ジテ再三、再四直接ニ労働民衆接触ノ機ヲ作ラバ農民ノ旱天ニ雨ヲ欲スルガ如ク労働民衆ハ拳ゲテ之ヲ甘受シ日本政府ハ遂ニ之ヲ防遏スル能ハズ吾人ノ目的ハ達成セラルベシトノ建白書ヲ露側ニ提出シ一方自方ニ於テハ露側ニ追従シテ日本労働階級支援ヲ標榜シ一

七〇四

ナル処右事実ノ有無御取調ノ上折返シ電報アリタク尚同船カ右ノ如キ目的ヲ以テ貴地立寄ノ場合ニハ同船ノ行動御注视ノ上乗組員並積載貨物ノ状況來航ノ日取等詳細電報アリタシ

尚「レーニン」号ニ付テハ往電合第二〇六号ノ通リ事情ニ依リ同船ニ退去ヲ命シタルモ今後露國側ヨリ震災救濟ノ申出アル場合ニハ当初ノ方針ニヨリ救護隊ニヨル援助ハ已ニ傷病者ノ収容救護ニ閑スル施設其ノ緒ニ就キ大体懸念ナキ状態ニアルノミナラス言語不通、通訳不足ノ為円滑ニ事務ヲ處理シ得サル虞アルヲ以テ之ヲ謝絶スルコトトスルモ物資ノ供給ハ先方カ其ノ頒布ニ閑シ労働者ノミニ配布シ又ハ自ラ之カ頒布ニ当ル等ノ特殊ノ条件ヲ付スルコトナク専ラ帝国政府ノ处分ニ一任スルニ於テハ欣然之ヲ受領スル方針ニ付御含アリタシ

五一〇 九月二十二日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号本邦退去並ニ震災當時ニ於ケル朝鮮人暴動事件ニ対スル當地朝鮮人ノ動静ニ付

報告ノ件

般鮮人ニ閑シ援助会設立ヲ發表セリ
(二)東京付近鮮人暴行ニ閑シテハ当初鳳山丸ノ送付シ来レル大阪朝日及毎日新聞号外ヲ当地「ダ、ペ、ウ」ガ押収シタルニ依リ逸早ク鮮人側ニハ東京付近鮮人ニ対シテ日本官民ノ大殺戮トシテ伝ヘラレ露紙又之ニ応シタル為一時喧嘩ヲ極メタルモ反日鮮人幹部ニ於テハ直ニ数回ニ亘リ秘密會議ヲ開キタルカ最近上海仮政府カ会ノ為露領派ノ了解ヲ得テ來浦セル上海派（武力派）ハ極力在留邦人ニ対シ復讐説ヲ主張シタルモ露領派（共産派）ハ異常ナル天災地変ニ際シ鮮人カ暴動ヲ起シタリトン之カ為日本官民ノ復讐ヲ買ヒ相当制裁ヲ加ヘラレタリトセハ此ハ当然ノ事ニシテ斯ル卑劣ナル暴挙ニ閑シテハ吾人ハ与ミスル能ハス況シヤ当地在留日人ニ対シ復讐セントスルカ如キハ吾人ノ将来ノ目的達成上阻碍ヲ來スノミナラス露側カ決シテ之ヲ看過スルコトナシトテ全然此説ヲ反駁抑遏シ「シンカンソン」高麗共産青年会ニ対シテモ通告ヲ発シ此際「シンカンソン」ニ往来スル日人ニ対シテハ絶対ニ暴行ヲ加フルナカレト嚴重警告セリ然レドモ当地反日鮮人カ今次ノ震災ニ閑シ彼等ノ目的達成上重要視シツツアルハ事実ニシテ之カ為「ニ」市鮮人民

八 関東大震災関係 五二一 五二二

七〇六

会長李以下幹部ハ頃日來来浦当地側ト秘密會議ヲ開キツツアリ又當地側ヨリハ本件宣伝ノ為最近有力ナル幹部金以下五、六名ヲ「ニ」市ニ派遣セリ「シンカンソン」一般鮮人ハ鮮人ノ暴動ハ対日反感ヨリ來ル當然ノ行動ナリトン（敢テ前記ノ復讐説ヲ喧伝セス）日本ハ今次ノ大震災ニ依リ約十年ノ國力ヲ殺カレ此種天災再発スルニ於テハ日本ハ全滅シト各人歎喜ニ満チ高麗共産党機関紙「センボウ」又之ニ唱和煽動シツツアリ

本件事情右ノ如クナルヲ以テ當地露紙ニハ爾來時々種々ノ記事ヲ掲ケタルモ別ニ論議迄ニ至ルナキヲ以テ却テ蔽蛇トナルヲ顧慮シ累次電報ヲ發表差控ヘ居レリ事態ノ真相如何ニ依リテハ半宣伝トシテ發表スル予定右不取敢

五二一 九月二十二日 在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号事件ニ言及セル当県機関紙社説大

要報告ノ件

第七一五号

（九月二十三日接受）

往電第七一〇号「レ」号事件ニ関シ殆ト沈黙シ居タル當県機関紙ハ二十二日社説ニ於テ大要日本今次ノ大震災ニ対ス

ル露國勞農民ノ兄弟的心情ニ出ツル援助ニ對シテハ日本國民一般及政府モ深謝シ居ルニ政府カ「レ」号ヲ横浜ニ招キ乍ラ矛盾セル処置ニ出テタルハ不可解ニシテ此ノ行違ハ水解セラレサルヘカラス吾人ハ日本ノ一部ニ反勞農派有ルヲ知レルモ日本政府カ全体トシテ横浜官憲ノ為シタル態度ヲ持セサルヲ信スルカ故ニ本件責任者ヲ處罰シ問題ヲ解決セソコトヲ期待ス然モ吾人ハ罹災民ノ慘状ヲ熟知スルヲ以テ同情的救援ヲ緩メスト同時ニ日本政府カ右處罰ト共ニ今後派遣スヘキ我力義捐救援船ヲ相当ニ待遇スヘキ處置ヲ執ラソコトヲ希望ス云々ト論シ且本件ニ関シ「ロスター」トシテ小宣伝的記事ヲ掲ケ居レリ

五二二 九月二十二日 在敦賀郡司副領事ヨリ
松平歐米局長宛（電報）

レーニン号一件ハバヂズ全權ノ失策ト語レル

マツオキンノ談話報告ノ件

（九月二十三日接受）

二十一日入港ノ鳳山ニテ來レル「マツオキン」ハ上陸ヲ許サレサル為船内ニ在ル由聞込タルニ依リ同人ヲ訪ヒ「レ」号ニ関スル感想ヲ尋ネタル處全權「バヂズ」カ露國政府ノ

命ニ反シタル処置ニ出テタル失策ニシテ官民共ニ全權ニ対シ不快ノ念ヲ抱キ目的ノ貫徹セサリシヲ遺憾トシ居ル由而シテ義捐金ノ募集ハ今尚繼續シツツアリト

右ハ浦潮ヨリ電報アリタルコトト存スルモ御参考迄尚「マ」ハ小官ニ對シ既ニ地方官憲ニハ願置キタルモ曩ニ政府ヨリ入國ノ許可ヲ得居リ又渡邊領事ヨリノ紹介状ヲモ持參シ居ルニ付上陸許可ノ上横浜ニ赴クコト不可能ナラハ同地サギヤマ三三六九ノB、英人「フランシス」方ニアル荷物九個受領ノ為神戸ニ赴キ得ル様斡旋アリタク若シ許可セラレサル場合ハ荷物ヲ敦賀又ハ浦潮へ送付方取計アリタシト申出タリ本件モ既ニ地方官憲ヨリ電済ノコトト存スルモ御参考迄

鳳山ハ二十二日午后四時浦潮へ出帆

五二三 九月二十三日 在浦潮渡邊總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

救援拒絶ニ對スル露國側ノ反応ニ關シ報告ノ件

第七一七号

（九月二十三日接受）

在当地表妻海軍少佐ヨリ海軍省軍務局長ヘ左ノ通

八 関東大震災関係 五二三

二十二日赤旗紙論說

曩ニ日本政府及國民ハ挙テ我國ノ救援ヲ感謝シ殊ニ今回ノ我救援船派遣ニ際シテハ日本政府ハ特ニ同船ヲ横浜ニ招キナカラ今回ノ如キ結果ヲ見ルニ至リタルハ我等ノ全ク諒解ニ苦ム処ナリ目下我等ハ日本ニ我勞農露國ニ対シテ好感ヲ有セサル一派ノアルノ事實ヲ承知スルモノニシテニ今回ノ事件ハ日本出先官憲ノ過ニ起因セルモノニシテ決シテ日本政府及國民全般ノ眞意ヨリ出テタルニ非サル

八 関東大震災関係 五二三

七〇八

ヘシト信スルノミナラス我等ハ日本被害ノ状況ヲ能ク承

知スルヲ以テ今後ニ於テモ同情的救援ヲ為スコトヲ中止

セザルヘン我等ハ日本政府カ今回ノ行違ヲ生スルニ至ラ

シメタル直接責任者ヲ処罰シテ本件ニ円満ナル解決ヲ与

フルト共ニ今後派遣スヘキ我救援船ヲ相当ナル礼ヲ以テ

待遇スヘキコトヲ期待セントス云々

(d) 本件ニ関スル当地一般露国民ノ意向ハ要スルニ今回ノ

如キ道徳的事業ヲ為スニ當リテ露国官憲ガ特ニ日本労働

階級ニ限りテ救援セントスルガ如キ主義的意義ヲ含マセ

タルガ事ノ行違ヲ生ズルニ至リタル原因ニシテ此ハ義捐

金ノ募集ニ応ジツツアル一般露国民ノ意思ニ反スルモノ

ニシテ日本側ノ拒絶スル所トナルヘキハ初メヨリ分リ切

リタルコトナリトテ今日迄ノ處我等邦人ニ対シテ不平ケ

間敷キ言辞ヲ弄シタルモノアリシヲ聽カズ

(e) 莫斯哥新聞ノ論調

二十日莫斯哥「プラウダ」紙ノ論説トシテ当地赤旗紙ノ

伝フル所左ノ如シ日本政府及軍閥ハ今回ノ大災害ニ乗ジ

テ多数ノ鮮人及労働者ヲ殺戮シ我勞農露国ヨリノ救援ヲ

必要ナシトテ拒絶セリ

(f) 鄙見

以上及今日迄ノ観察ニ依ルニ今回ノ事件ハ要スルニ彼我

出先当事者ノ处置殊ニ露國側ノ夫レニ於テ甚ダシク穩当

ヲ欠ク所アリシニ依ル行違ナルガ如ク思ハル処本件ガ

事節柄今後ノ両国交渉上ニ面白カラザル影響ヲ及スコト

アルヘキニ鑑ミ露國側ガ罪ヲ我出先当事者ニ嫁シテ自己

ノ立場ヲ救ハント努メツツアルニ對シ我モ亦同様ニ行違

ノ罪ヲ露國救援使節ニ嫁シテ爾後ノ救援ヲ引受クルコト

トセバ本件ノ解決ハ左迄困難ナラザルベシ

勿論露國官憲ノ救援目的ハ此度ノ我震災ニ乘ジテ日露

「プロ」ノ近接ヲ計ラントスルニ在ルコト疑ノ余地ヲ存

セザル所ニシテ我官憲ガ露國「プロレタリアート」ヨリ

我「プロ」ニ送ル救恤品ヲ取次グコトハ時節柄重大ナル

意味ヲ有スルコトナルヘキモ苟モ我ニ對内的ノ確信有

ル以上事實上真ノ同情ヨリ露國大多数国民ノ義捐品ヲ受

クルコトハ日露兩国民ノ親善促進上極メテ有利ナルベシ

ト思考ス

本件ニ關スル小官報告第二〇号及第二一號参照アリタク

尚露國側ガ震災地ノ状況ヲ事実以上ニ混乱セルモノト考

ヘ物資サヘ持チ行ケバ無秩序ニ乘ジテ自由ニ行動スルヲ
得ルモノト誤解セルコトモ今回ノ行違ヲ生ジタル原因ノ
一ナルベシ御参考迄ニ付記ス

内地通信混雜ノ際故本件等ニ關シテハ渡辺領事電ニテ承
知ヲ願フ積リナリシモ命ニ依リ爾後ハ逐一電報スルコト

トスベシ

(g) 「サマルガ」駆逐艦派遣ノ件

本件ニ關スル渡辺領事ノ談ヲ綜合スルニ露國側ハ未尚事実
調査中ニ名ヲ藉リテ本件ニ關スル詳細ナル情報ヲ与ヘザル
モノノ如ク又我駆逐艦ノ派遣ニ對シテハ今ノ所余リ神經ヲ
尖ラシ居ラズト云フ

九月二十三日 裴妻少佐

五二四 九月二十三日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

在欧邦人一行ノ露國通過並ニ當地方ニ於ケル

朝鮮人ノ保護取締等ニ關スル露國側ノ態度觀

察報告ノ件

第七十八号

(九月二十四日接受)

貴電第四五六号在欧邦人一行ノ露國通過ニ關シテハ露側ガ

八 関東大震災関係 五二四 五二五

行愈々露國通過ニ決定ノ上ハ御訓令トシテ本官ヨリモ正式
ニ露側ニ對シ途中ノ保護便宜供与方ヲ申込ミ置カバ一層好
都合ナルベシト考ヘラルニ付右為念

五一五 九月二十四日 在長春山内總領事ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

レーニン号事件ニ對スルソ連新聞報道伝達依

七〇九

頼ノ件

号外 左ノ通東方本社へ御伝へ請フ (九月二十五日接受)

五一六 九月二十四日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

レーニン号退去ニ閔スルチヂューリンノ抗議電

文訳送ノ件

莫斯古二十一日一震災ノ結果ニ対スル露国側ノ観察ハ最初是レテ日本カ全然力ヲ失ヒ強國ノ列ヨリ失脚スヘシト観察シタカ被害ノ程度明確トナリ政治經濟上ノ秩序維持サレ震災区域ノ諸機關カ急速ニ恢復サレツツアルヲ知ルト共ニ次第ニ見解ヲ変ヘルニ至ツタ一般ニ國民ハ政府カ震災援助ニアラユル方法ヲ講シツツアルニ対シ非常ニ満足ヲ感シテ居タカ二十日ニ至リ日本政府ノ赤十字隊援助謝絶、「レーニン」号退去命令等ニ閔シ發表ナサレプラウダ、イズウェスチヤハ社説デ之レ日本ノ軍閥ノ頑迷不靈ノ為ス所トシテ攻撃嘲笑シ初メタ然シ露国外交界ハ日本政府カ震災ノ後始末ニ一段落ヲ告ケ日露會議ノ開始ヲ提議スルニ至ル時期ニ對シ興味ヲ持チ「レーニン」号事件等ニ対シテモ出来ル丈冷靜ナ態度ヲ持シ後藤子カ外相ニ為ラストモ内閣ノ重要ナ地位ヲ占メテ居ル以上日露交渉ニ閔スル閣議ノ決定ヲ有利ニ導クニ相違ナイト觀測シテ居ル(二十三日哈爾賓)

シタルコト判明セバ之ニ対シテハ処置ヲ執リスル現象ノ再燃ヲ予防スベシ連盟政府ハ同政府ガ恰モ本事件ニ際シ罹災民救援以外ニ他ノ目的ヲ有スルガ如キ嫌疑ヲ断乎トシテ否認スルト俱ニ同政府ハ如上ノ如キ根拠ナキ嫌疑ヲ起サルルコトハ労農連盟トノ良好關係樹立ニ慊焉タラザルモノノ態度表現ト看做スモノナリ

乍然労農政府ハ日本官憲ノ如上行為ニ因ル面白カラザル結果ニ閔セズ今次ノ大災害ニ惱ム日本國民ノ救援事業ヲ継続シ總テノ出先官憲ニ対シ将来俱ニ日本官憲ニ対シ交渉上充分公正ナル態度ヲ持続スベキヲ命ズベシ

ム若シ日本國家ニ対シ本船ノ何人カガ不都合ノ行為ヲ為シタルコト判明セバ之ニ対シテハ処置ヲ執リスル現象ノ再燃ヲ予防スベシ連盟政府ハ同政府ガ恰モ本事件ニ際シ罹災民救援以外ニ他ノ目的ヲ有スルガ如キ嫌疑ヲ断乎トシテ否認スルト俱ニ同政府ハ如上ノ如キ根拠ナキ嫌疑ヲ起サルルコトハ労農連盟トノ良好關係樹立ニ慊焉タラザルモノノ態度表現ト看做スモノナリ

シタルコト判明セバ之ニ対シテハ処置ヲ執リスル現象ノ再燃ヲ予防スベシ連盟政府ハ同政府ガ恰モ本事件ニ際シ罹災民救援以外ニ他ノ目的ヲ有スルガ如キ嫌疑ヲ断乎トシテ否認スルト俱ニ同政府ハ如上ノ如キ根拠ナキ嫌疑ヲ起サルルコトハ労農連盟トノ良好關係樹立ニ慊焉タラザルモノノ態度表現ト看做スモノナリ

スル致命的大損害ナリトスル見解ニ結ビ付ケ之ヲ政治化シ民族運動ノ好餌トナサントスル形勢ハ明ニ看セラレ秘密会合各所ニ催サレ一般鮮人ハ昂奮動搖シツツアリ今後ノ推移ニ付テハ充分ノ警戒查察スルヲ要ス從来御配布ヲ受ケ居タル鮮人狀況調査費月額五〇〇円ヲ以テ当地及尼市方面ヲ調査セントスルハ此際既定配布額ニテハ不足ヲ免カレズ右ニ付テハ曩ニ帰朝シタル郡司副領事ヨリ御聽取ノ次第ト存ゼラルニ付テハ十月以降当分ノ間月額二百五十円(二五〇)ノ高御増額ノ上至急御送付相成タク右不取敢請請ス

五一七 九月二十五日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)
在当地ノ朝鮮人ノ狀況ニ閔シ報告ノ件

第七二二号 (九月二十六日接受)

今次ノ震災ニ付テ「レ」号退去及鮮人暴動事件ニ閔スル當

地方鮮人狀況ニ閔シテハ大体往電第七一四号報告ノ通リナ

ルカ今後ノ形勢ハ「レ」号ニ付テハ差シタル變化ナキモ鮮人暴動ニ付テハ表面平靜ヲ裝ヘルモ今次ノ震災ハ日本ニ閔

ヲ急派シ同号ハ途中日本政府ノ指図ニ依リ横浜ニ赴キタル
處同港官憲ハ同船ニ対シ飽迄退去ヲ命ジタリ日本側ハ同船
ガ宣伝ノ目的ニテ来レリトノ理由ニテ右暴行ヲ弁解セムト
努メ居ルモ日本政府ハ露当局ニ対シ本件ノ経緯ヲ明解スベ
シ吾人ハ右回答ヲ俟チソツ本救援ノ緊要ナルヲ記憶セザル
ベカラズ吾人ハ各國ニ在ルガ如ク日本ニモ勞農ニ対スル不
俱戴天的ノ敵アルヲ知ルモ彼等ノ陰謀誣言ガ日本労働者ノ
難境ヲ救フモノニアラザルヲ以テ救援事業ハ些ノ遲延ナク
継続努力セザルベカラズ云々トノ檄文ヲ掲ゲ猶罹災電報
欄内ニ於テ

一、北京二十二日発電トシテ甘粕大尉ノ大杉家族殺害事件
ガ同大尉ノ捕縛及憲兵隊長停職戒厳司令官更迭ヲ惹起シ
民心不穏ノ兆アルガ如キ報道

二、二十二日神戸「ロスター」トシテ「レ」号事件ニ関スル
「ロスター」通信員ノ後藤子宛公開質問ニ対シ東京新聞ハ
同船ハ横浜地方官憲ガ中央ノ承認ナク退去センメタルモ
ノニシテ政府ハ之ヲ遺憾トシ将来船舶ノ來港ハ許容セラ
ルベント説明セリ云々

等ヲ掲ケ又同日ノ労働組合機関紙ハ社説ニ於テ日本労働界

第四六四号

貴電第七一九号ニ閑シ左ノ通「ハーウィン」ニ申入レ「チ
ェリン」ニ伝達方取計ハレタン

今回ノ震災ニ対スル露国官民ノ同情ハ日本官民ノ深ク感謝
スル所ニシテ「レーニン」号到着ノ場合ニモ囊ニ回答セル

通り救護隊ハ之ヲ謝絶スルノ外ナキモ寄贈物品ハ其ノ处分
ヲ日本官憲ニ一任セラルニ於テハ快ク之ヲ受納スル方針

ナリシ処該船横浜入港ノ際露國側ハ右寄贈物品ノ分与ヲ労
働階級ニ限ルヘク且自身之ヲ分配セムトスル旨公言セルノ

ミナラス乗組員カ不穩ノ言辞ヲ弄シ居ル旨地方官憲ヨリ情
報アリタルヲ以テ戒厳司令官ハ同船ニ対シ退去ヲ命シタリ

右ニ付テハ當時混雜ノ際中央トノ連絡等ニモ不完全ノ点ナ
キニアラサリシ為遺憾ナカラ右政府ノ意思カ貴國代表者ニ
針ナリ

第四六四号

五三〇 九月二十六日

在上海矢田總領事ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

トムスク号ハ当地ニ來航セズ日本へノ派遣計

画ノ有無モ不明ノ旨回答ノ件

第二五一號

(九月二十七日接受)

貴電第一四九号ノ前段ニ閑シ露西亞事務局ニ付確メタルモ
「トムスク」号ハ當地ニ來航セザルノミナラズ同船來航ノ
有無並御來示ノ如キ計画アルヤ否ヤモ不明ナル趣ナリ

五三一 九月二十七日

伊集院外務大臣ヨリ
在浦潮渡邊總領事代理宛(電報)

トムスク号日本派遣ノ計画ハ不明ナル旨回報

ノ件

第四六八号

「レーニン」号横浜入港ノ際同船乗組員ノ在同地官憲ニ語
リタル所ニヨレハ「トムスク」号モ震災救助ノ為上海ニ於
テ救護品ヲ積込ミ本邦ニ來航ノ筈ナリトノコトナリシヲ以
テ右事實ノ有無在上海總領事ニ取調方訓令シ置キタル処今
回露西亞事務局ニ確メタルモ同船ハ同地ニ來航セザルノミ
ナラス來航ノ有無並前記ノ如キ計画アルヤ否ヤモ不明ナル

ノ窮状ヲ詳記シ仮令日本ノ地方官憲ガ「レ」号ヲ退去シタ

ルトモ吾人ノ救援ハ瞬時モ忽ニスベカラズ労農政府ハ右救
援承認ヲ日本ヨリ追求スペシ日本労働者ノ救援ハ吾人ノ義
務ナリト論ジ居タリ猶當地取引所ガ千五百留ヲ寄付シ一般
商工業者ノ義金取扱ヲ報道セリ猶二十四日本官ガ他用ニテ
漁業全權「アンドリヤーノフ」ト會見ノ際「ア」ハ露國ガ
衷心ノ同情ヲ以テ「レ」号ヲ送リタルニ對シ日本官憲ガ拒
絶シタル事實ハ其經緯ノ如何ニ閑セズ露國民衆ニ不快ノ感
ヲ與ヘ數日前ノ縣委員会ニ於テ数百名ノ議員中露國ノ好意
ヲ無視スル日本救援ノ要ナキヲ説キタルモノアリシモ結局
右ハ日本一部ノ態度故露側トシテハ飽迄救援然ルベント決
定シタルモ日本ハ「レ」号事件ノ責任者ヲ明ニセザレバ露
側ハ満足セザルベシ自分モ実ハ部下及當業者一般ノ寄贈ヲ
決議セシメタル關係上困惑ノ立場ニ在リ全露トシテモ同様
ナルハ明ナリ両國關係上本件ノ勃發ハ近來ノ恨事トス云々
ト語(脱)ハ適宜応酬シ置キタリ

五二九 九月二十六日

伊集院外務大臣ヨリ
在浦潮渡邊總領事代理宛(電報)

露國ヨリノ援助ニ對スル謝意伝達方訓令ノ件

旨回答アリタリ御参考迄

五三二 九月二十七日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

県機関紙ハレーニン号便乗ノゴンチャル記者
ノ紀行文ヲ掲ゲ社説ニ於テ日本政府ノ措置ヲ

論評セル件

第七三一号 （九月二十八日接受）

往電第七二四号ニ閑シ

二十六日県機関紙ハ労働日本ノ救援ト題スル「レ」号便乗記者「ゴンチャル」ノ筆ニカカル長文ノ紀行文ヲ掲ゲ且其社説ニ於テ日本政府ノ偶話ト題シ大要左ノ通り論ゼリ日本政府ハ労農露民ノ罹災者ニ対スル救援ヲ自国民ノ眼前ニ毀損セムコトニ努力セリ赤化革命宣伝防遏ハ可ナルモニ罹災者救援ノ目的ヲ以テ派遣セラレタル同号ガ日本國家ノ保全ヲ脅威スベシトハ痴者ニアラズムバ考ヘザル処ニシテ同政府ガ又然ルベント吾人ハ確信ス而モ同号ハ不都合ナルロ実ノ下ニ退去ヲ命ゼラレタリ吾人ハ無邪氣ニ是憲兵等地方官憲ノ為シタル誤解行為ナルベキニ依リ政府ハ之ヲ処罰スベキヲ期待シ其態度ヲ注視シ来レリ然ルニ其後ノ報道

ニ対スル敵意ヲ幾分和グベシトモ期待セザリシモ全國民及政府ハ吾人ノ熱誠ナル救援ヲ支持スルモノト期待シタルモ吾人ハ政府ノ態度ニ痛ク誤ラレタリ而モ吾人ハ日本ノ慘状ガ救援ヲ要スルヲ自覺スル故何等辟ムコトナク益々応接ニ努力セザルベカラズ吾人ハ日本政府ガ結局吾人ニ対スル態度ヲ改メ吾人ノ著手シタル事業ヲ故障ナク出来得ル丈ヶ実現方可能ナラシムルモノナルコトヲ期待ス云々在哈爾賓總領事へ暗号ノ儘郵送セリ

五三三 九月二十七日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号問題ニ閑スル先方ヘノ応答ハ誤解

方要望ノ件

第七三二号 至急

（九月二十八日接受）

貴電第四六四号ニ閑シ「レ」号事件ニ対スル露側ノ態度ハ既ニ御承知ノ通ニ付本電御応答ハ先方カ必ラス文書トシテ

要求シ公表スルナラムト存セラル貴電來文ノ露訳ハ本官「デリケート」ノ關係ヲ有スルモノト考フルニ付他日ノ誤解ヲ避クル為メ成ルヘク英仏ノ内一語ニ御翻訳ノ上御回示

相成リタク尚從来本救援ニ類シテハ我方ノ応答説明カ毎々暗号ニテ本官ヨリ口頭又ハ内容要約ニテ先方ニ伝フルニ止マリ別ニ公表セラレ居ラサル為メ却テ不利ヲ招クノ感アリ既ニ露側ハ貴電第四六五号ハ往電第六九八号ノ如ク莫斯科ニ於テ極ク簡単ニ発表シ又貴電第四四九号我方ノ説明（往電第七一一号）ヲ往電第七三一号前段ノ通先方ノ都合良キ様伝フル等ノ憂アリト存セラルニ付成ルヘク平文ニテ御回示相成リタシ取急キ

五三四 九月二十八日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

県機関紙所載ゴンチャルノ横浜紀行文ノ概要

報告ノ件

第七三六号

（九月二十九日接受）

二十八日県機関紙ハ（二十六日神戸発「ロスター」日本ノ予備金全部カ復旧事業ニ使用サルト支払延期令ノ為金融逼迫取引事実中止等ノ為日本ハ財政難境ニアリ又戒嚴令二ヶ月施行ハ内部カ左程安泰ナラサルノ証ナリト既報「ゴンチャル」ハ「レ」号横浜紀行文ニ於テ同船着浜ノ際本船力真ニ罹災民救援ノ目的ヲ以テ充分ノ準備ヲ整ヘ居タル実況

ハ同船ノ赤旗ト共ニ在港各国人ノ注意ヲ惹キタルヲ得意ニ叙シ同船第一ノ訪問者港務局長カ極丁寧ニシテ事務的ニ尋問ヲ了シ且真ニ真意ヲ以テ本船カ初回ノ外国救援船トシテ来港シタルヲ感謝シタルハ一行ニ欣快ノ感ヲ与ヘタルモノナリトテ其態度ヲ痛ク称揚セルニ反シ次ノ訪問者タル警察官及憲兵通訳（浦塩派遣軍付タリシト云フ）カ來船シ荷物及救援ニ関シ何等興味ヲ払ハス救援ニ関係ナキ露国ノ近状ヲ尋問シ且直ニ酒食ヲ要求シ通訳ノ如キ衣服ヲ求メタリトテ惡評ヲ加ヘ外国艦船員ハ自由ニ交通セルニ反シ本船ヨリハ何人モ上陸ヲ許ササリシモ万事ヲ忍ヒタリ如何ニ吾人力誤解ヲ避クル為努力シタルカハ或ハ露語ヲ解スル英米商船員カ負傷セル日本婦人ヲ連レ来リタルニ依リ救助シ得タルモ之ヲ拒絶シ且露字新聞ヲ請ヒタルモ亦之ヲ拒絶シタリ夜ニ入り海軍側代表來船シ本船幹部ト談判シ居タルニ依リ「ゴ」ハ甲板ニ散歩中日々新聞記者ナルモノ来リタルニ依リ十数名隊員等ト俱ニ通訳ヲ介シ談話シタルガ其際記者ハ本船ノ來援ヲ繰返シ謝シ且本救援ニ対シ國民間ニ二種ノ意見アル旨ヲ指摘シタルガ該談判ノ結果ヲ聞キ之ヲ諒解シタリ即チ「日本官憲ハ我物資全部ヲ軍隊ニ交付方ヲ提議シタリ

ナリトテ其態度ヲ痛ク称揚セルニ反シ次ノ訪問者タル警察官及憲兵通訳（浦塩派遣軍付タリシト云フ）カ來船シ荷物及救援ニ関シ何等興味ヲ払ハス救援ニ関係ナキ露国ノ近状ヲ尋問シ且直ニ酒食ヲ要求シ通訳ノ如キ衣服ヲ求メタリトテ惡評ヲ加ヘ外国艦船員ハ自由ニ交通セルニ反シ本船ヨリハ何人モ上陸ヲ許ササリシモ万事ヲ忍ヒタリ如何ニ吾人力誤解ヲ避クル為努力シタルカハ或ハ露語ヲ解スル英米商船員カ負傷セル日本婦人ヲ連レ来リタルニ依リ救助シ得タルモ之ヲ拒絶シ且露字新聞ヲ請ヒタルモ亦之ヲ拒絶シタリ夜ニ入り海軍側代表來船シ本船幹部ト談判シ居タルニ依リ「ゴ」ハ甲板ニ散歩中日々新聞記者ナルモノ来リタルニ依リ十数名隊員等ト俱ニ通訳ヲ介シ談話シタルガ其際記者ハ本船ノ來援ヲ繰返シ謝シ且本救援ニ対シ國民間ニ二種ノ意見アル旨ヲ指摘シタルガ該談判ノ結果ヲ聞キ之ヲ諒解シタリ即チ「日本官憲ハ我物資全部ヲ軍隊ニ交付方ヲ提議シタリ

五三五 九月二十九日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

レーニン号ノ物資ハ當地ニ陸揚シ中央ノ指令
ヲ俟ツコトセル旨並ニ目下尚募金中ニ付日
本側ヨリ誤解ナキ様レーウィン談話ノ件

第七四〇号

（九月三十日接受）

往電第七三七号「ハ」ニ伝ヘタル御回電内容ハ二十九日「レーウィン」（往電第七〇五号）ヘモ伝ヘ貴電第四四九号末段ノ御意向及我方ノ態度ヲ明カニスルニ止メタル処「レ」ハ満足ノ体ニテ横浜事件カ出先官憲ノ行違タルヘキハ予モ予想シ居タル處ニシテ貴回答ニ対シ莫斯科ハ何トカ當方ヘモ回示スヘキニ依リ「レ」号ハ予テ黒海方面ニ廻航ノ筈ナ

リシヲ以テ一応物資ハ當地ニ陸揚シ他ノ寄贈品ト共ニ中央ノ指命ヲ俟ツテ処置スルコトト為セリ露側ハ一事故ノ為熱情ヨリ出テタル救援ヲ中止スルコトナク御承知ノ通各地ニ

益々醸集ノ実ヲ挙ケ居リ當地モ着々集金中（現ニ二氏ハ此程園遊会ヲ為シ県委員会ハ三十日ヨリ救濟記事ヲ當市及郡部一般ニ売出計画ヲ為セリト）ナルニ付日本側ヨリ誤解ナカラムコトヲ希望ス

「トムスク」号（貴電第四六八号）ハ「アヤン」「オホツク」方面ノ住民釀集物資ヲ輸送ノコトセリ云々ト語リ居タリ尚本官ハ貴電第四六〇号「レ」号ニ給与サレタル炭水ノ件ヲ「ハ」及港務局長ニ伝ヘタル処後者ハ之レ「レ」号カ横浜港務官ヨリ買受ケタルモノニテ支払ノ暇ナカリシニ依ルモノ故無料ニテ受クヘキ理由ナシ同号ハ我社船ニテ謂ハハ商業故自ラ銀行ヲ經テ直接送金スヘシ云々ト語リ居タルニ依リ本件ニ關シテモ序トシテ都合好ク「レーウィン」ニモ談話シ我方態度ヲ示シ置キタルニ「レ」ハ多トスル意ヲ表シ居タリ

追テ本件ハ其次第ヲ日本政府ニ通知スルナラント云フモ之レ單ニ表面ノ体裁ナラント共産党関係者ハ洩セリ

五三七 九月三十日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

鈴木日本労働連合会救護委員長ノ檄文ニ對ス
ル労働機関紙及ビ県機関紙ノ論調報告ノ件

五三六 九月二十九日 ハルビン情報

八 関東大震災関係 五三六 五三七

第七四一號

（十月一日接受）

七一七

八 関東大震災関係 五三八 五三九

七一八

二十九日当地労働機関紙及三十日県機関紙（「ゴロス・ロー
ジヌイ」紙ハ本月二十二日ヨリ廃刊ニ付目下重ナル露字新聞ハ右二紙ノミ）ハ何レモ日本労働連合会救護委員長鈴木文治ノ欧米各国労働団体ニ宛タル檄文（大要今次ノ震災ニ於テ政府ノ救護ハ労働団体以外ノモノニ与ヘラレントシ從來庄迫ヲ受ケ居タル該団体約五千名ハ殆ント飢餓ニアリ労働運動亦危機ニ瀕セルニ依リ之カ救援ニハ不取敢拾万円ヲ要スルニ依リ各國労働団体ノ応援ヲ望ム）ヲ掲載セルカ右ニ関シ赤旗紙ハ社説ニ於テ大要極東露領労働者ハ曩ニ日本労働権災民救援ノ為「レ」号ヲ派遣シタルモ罹災地軍憲ハ政府カ救護セルニ依リ外部ヨリノ救援ヲ要セスト言明シタルニ依リ之ヲ信セサリシモ止ムナク「レ」号ハ引揚ケタリ斯クテ吾人救援ハ軍憲ノ為妨ケラレ一時同情ノ熱冷エントシタルモ當局ハ醵金ヲ継続セリ吾人ハ今次ノ檄文ニ依リ震災（脱）及政府態度ニ関スル吾人ノ予想カ的中セルヲ知ル世界的労働運動ノ前衛タル吾人ハ日本労働者ノ現窮況ヲ黙過スルヲ得ス兄弟タル彼等ノ救援ヲ急カサルヘカラス今日我委員会カ举行スル集金ニ對シ一般民ハ（不明）救援ヲ助長セサル可カラス云々

「ゴロス・ロー」紙ハ本月二十二日ヨリ廃刊ニ付目下重ナル露字新聞ハ右二紙ノミ）ハ何レモ日本労働連合会救護委員長鈴木文治ノ欧米各国労働団体ニ宛タル檄文（大要今次ノ震災ニ於テ政府ノ救護ハ労働団体以外ノモノニ与ヘラレントシ從來庄迫ヲ受ケ居タル該団体約五千名ハ殆ント飢餓ニアリ労働運動亦危機ニ瀕セルニ依リ之カ救援ニハ不取敢拾万円ヲ要スルニ依リ各國労働団体ノ応援ヲ望ム）ヲ掲載セルカ右ニ関シ赤旗紙ハ社説ニ於テ大要極東露領労働者ハ曩ニ日本労働権災民救援ノ為「レ」号ヲ派遣シタルモ罹災地軍憲ハ政府カ救護セルニ依リ外部ヨリノ救援ヲ要セスト言明シタルニ依リ之ヲ信セサリシモ止ムナク「レ」号ハ引揚ケタリ斯クテ吾人救援ハ軍憲ノ為妨ケラレ一時同情ノ熱冷エントシタルモ當局ハ醵金ヲ継続セリ吾人ハ今次ノ檄文ニ依リ震災（脱）及政府態度ニ関スル吾人ノ予想カ的中セルヲ知ル世界的労働運動ノ前衛タル吾人ハ日本労働者ノ現窮況ヲ黙過スルヲ得ス兄弟タル彼等ノ救援ヲ急カサルヘカラス今日我委員会カ举行スル集金ニ對シ一般民ハ（不明）救援ヲ助長セサル可カラス云々

「レニン」号事件ニ関シ「バチス」及「ゴンチャール」ハ共産党浦潮支部ニ於テ共産党裁判ニ付セラレ「バチス」ハ六ヶ月間候補者ニ下シ「ゴ」ハ「ロスタ」社ヨリ免職セラレタル旨ノ哈爾賓情報ニ接シタル旨内務省ヨリ通報アリタル処右ハ果シテ事実ナリヤ御取調ノ上回電アリタシ

第四七八号 真否ニ付問合セノ件

「レニン」号事件ニ関シ「バチス」及「ゴンチャール」ハ共産党浦潮支部ニ於テ共産党裁判ニ付セラレ「バチス」ハ六ヶ月間候補者ニ下シ「ゴ」ハ「ロスタ」社ヨリ免職セラレタル旨ノ哈爾賓情報ニ接シタル旨内務省ヨリ通報アリタル処右ハ果シテ事実ナリヤ御取調ノ上回電アリタシ

五三九 十月四日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛（電報）

日本ヨリ露国側ニ宛テタル応答英文ヲ露側ニ

於テ県機関紙ニ訳載シ短評ヲ加ヘタル件

第七四五号

（十月五日接受）

英文ニ依ル貴電第四七二号応答ハ一日直ニ「ハーウィン」ニ転交シ置キタル處露側ハ之ヲ露訳シ二日ノ夕刊紙ハ註記付ニテ之ヲ掲載シ県機関紙ハ三日ノ紙上ニ露訳全文（大体公正ナリ）ヲ掲ゲ且其ノ短評欄ニ於テ大要本回答ハ「ノ」

ト」トシテ「ソフト」ニシテ且「メロデック」ナルモ非音楽的ノ点アリ即チ同情ト感謝ハ可ナルモ「フーラス・ラブ・サークムスタンセス」ナルモノハ甚ダ拙ナル考案ニシテ「不穏ノ言辞」ニ関シテハ果シテ何人ガ何處ニ於テ何人ニ如何ナル言辞ヲ弄シタルカ且該報告ハ何人ガ何人ニ為シタルカ明示無キハ事実ノ無根拠ヲ思ハシムモノニシテ「之等露人」ハ交通遮断ノ為交渉ノ為憲兵以外ノ日本人ト談話セザリシ扱モ其ノ神経過敏ト吾人ノ手ニ依ル寄贈品分配ニ対スル危惧ハ怪ナラズヤ連絡困難ナリシニ「レ」号退去ノ打合セヲ為シ得タル又奇ナラズヤ或ハ其ノ真相ハ連絡完全ナルニ於テモ明白ニ為シ得ザリシモノナラン云々ト評シ居ル外今日迄論議セズ

五四〇 十月四日 在浦潮渡辺総領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）
レーニン号事件露国側責任者ノ処分ニ關シ回
答ノ件

第七六四号 （十月十四日接受）

「トムスク」号本邦行ニ関スル貴電第四八七号御回訓ニ關シテハ此際當局ニ聞質スハ甚タ面白カラスト感シタルモ既ニ平文ニテ御電訓故止ムナク極ク輕ク聞合セタル上且念ノ為内偵シタル處目下斯ル計画ナキコトヲ確メタリ「レ」号

ハ既報ノ通帰浦後荷物ヲ陸揚ケ茶其他ノ物資ヲ積込ミ十月十日当港出帆新嘉坡經由黑海ニ向ヒ「トムスク」号ハ「セントロ・ソユーズ」ニ購入セラレ客月下旬「カムサツカ」

八 関東大震災関係 五四〇 五四一

七一九

八 関東大震災関係 五四二 五四三

七一〇

漁場ニ回航中ニテ数週後函館経由帰浦ノ予定ナリト云フ哈爾賓情報ハ貴電第四七八号「「バーチス」「ゴンチャル」ノ懲戒処分報ト同様ノ出処ニ依ルモノト察セラル不取敢

五四二 十月十九日 在浦潮渡辺總領事代理ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

此ノ際朝鮮人問題ニ閔スル声明ヲ公表スルハ
不得策ナルニヨリ當分形勢觀望ノ上適宜処置

スペキ様裏申ノ件

第七七〇号

(十月二十日接受)

貴電合第二六七号ニ閔シ既ニ累報ノ通当地ニ於テハ「レー

ニン」号事件ニ閔スル露側ノ態度モ略緩和セラレ鮮人問題ニ付テハ漸次其ノ煽動的態度ヲ改メラレソツアル傾向アリ

独リ反日鮮人側ニ於テハ漸進的ニ此ノ機ヲ逸セズ民族自決

ノ急務軍國資本主義ノ撲滅並無產者ノ団結等ヲ種々ナル方法ヲ以テ宣伝シ我方ニ対スル今後ノ対策ニ付相当腐心計画シツツアル模様ナルモ實力ノ伴ハザル關係上此際強ヒテ積極的反抗ニ出デントスルニモ非ざ然ルニ最近彼等ガ露紙ト共ニ反軍國主義ノ好材料トシテ非難攻撃シ来レル甘粕大尉事件ノ公表セラルアリ這ハ事件ノ進展如何ニ依リテハ益

ニ於ケル當局ハ右失敗ヲ覆ハシガ為メニ殊更日本攻擊ヲナスモノノ如シ

(二)露國當局ハ我震災義捐物品ノ処置ニ苦ミ居ル模様ニテ片山潛モ其ノ旨ヲ洩ラシ居リタリ依テ震災救護委員会ノ一員ハ本日上海ニ向フ

(三)十一月八日滿州里通過本邦ニ向ヘル棚橋小虎及大西某ハ片山潛ト右寄付物品ノ始末ニ対シ打合アリタル模様ナリ四露國當局ハ日露交渉再開ヲ切ニ希望シ居リ「クラシン」ハ商務官ヨリ正式ノ政府代表ノ交渉ヲ主張シ居タリト

五四四 十一月十七日 堀内長崎県知事ヨリ
後藤内務大臣宛

浦潮ヨリ帰來セル船員ノ談話報告ノ件

外高秘第四九六八号

大正十二年十一月十七日

長崎県知事 堀内 秀太郎

内務大臣子爵 後藤 新平殿

外務大臣男爵 伊集院彦吉殿

指 定 府 県 長 宮殿

浦塙ヨリ帰來船員ノ談話ニ閔スル件

八 関東大震災関係 五四四

益彼等ノ乗ヅル処ト成ルベク彼是考慮スルニ彼等ノ行動ノ

将来ニ閔スル推移予測ハ俄ニ断ジ難キモ現状ニ照シ此際強ヒテ鮮人ニ閔スル「ステイトメント」ヲ公表セバ徒ニ當時ニ於ケル都下混亂ノ印象ヲ深クシ機宜ヲ失スルト共ニ自家撞著ノ嫌アルノミナラズ寧ロ彼等ノ態度ヲ助長昂進セシメ却テ彼等ニ攻撃ノ資ヲ提示スルノ嫌アルヤニ考ヘラルルニ付当方に於テ此際尚公表ヲ見合セ当分形勢觀望ノ上適宜処置スル様致シ度キニ付右御了知相成タシ上海へ転電セリ

五四三 十一月十一日 在滿州里田中領事代理ヨリ

伊集院外務大臣宛(電報)

関東大震災ヘノ義捐物品ヲメグル紛糾問題ニ付モスクワヨリ帰來セル一邦人ノ談話報告ノ件

第八六六号

(十一月十二日接受)

十一月十日莫斯科ヨリ帰來セル大倉組滻口氏談話ノ要領(一)「レイニン」号ニテ本邦ニ赴キタル露國委員四名ハ先般事情報告ノ為メ莫斯科ニ召還サレ今般同一列車ニテ帰来

セルガ盛ニ日本攻撃ヲナン居リタルガ莫斯科ニ於ケル当局ハ左程ニ考ヘ居ラズ露國委員ノ手落モ認メ居レリ極東

浦塙ヨリ横浜ヲ經テ本月十五日当地ニ入港シタル神戸板谷商船会社所属汽船大日丸船長ハ彼ノ「レーニン」号問題等ニ閔シ概要左記ノ談話ヲナシタリ

記

本船ハ客月二十五日門司発浦塙ニ赴キ二日間泊豆粕四千噸ヲ積込ミ横浜ニ入港右荷揚ヲ了シ今般当港松尾船渠ニ約三週間入渠船体ノ修理ヲナスベク來航セシ次第ナルガ浦塙在港中レーニン号問題ニ閔シ同地在留邦人ノ談ヲ聞キタルニ當時新聞紙ノ如キ一部ノ露紙ヲ除ク外一般ニ沈黙ヲ守リ攻撃的態度ニ出ツルモノナカリシ趣ニテ之ガ為メ在留邦人ハ労農官民ノ真意ヲ忖度スルニ苦ミ甚ダシク奇異ノ感ヲ懷キタルモ此ノ一事ハ偶々以テ日本側ノ想像セシ如ク同船員等が過激主義宣伝文搭載本邦入國ヲ企テシ裏面ノ消息ヲ雄弁ニ表白説明セルモノナリト風評シ居タリト云フ而シテ該問題發生後浦塙官憲ニ於テ其報復手段トシテ邦人ニ対シ何等圧迫的行動ニ出テサル趣ニテ流石ハ小節ニ拘泥スル所ナキ所謂大国民ノ襟度雅量ヲ示セルモノナリト称シ居タリ尙ホ同港出入船舶ニ対シテハ同地駐在家保安部員五名武器ヲ携帶臨検シ無旅券者即チ密航者ニ就キ徹底的搜查ヲ行ヒ居レルモ其他ノ調査取締ハ比較的緩慢ナルガ如シ云々

日本外交文書 大正十二年 第一冊 終

附錄 日本外交文書 大正十二年第一冊 日附索引